

令和4年度

雄武町教育委員会の活動状況に関する

点検・評価報告書

令和5年3月

雄武町教育委員会

はじめに

今日、経済・社会構造の変化や少子・高齢化の進展など、教育を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中、教育委員会においては、責任体制の明確化や体制の充実を図り、教育行政の中心的な担い手として、その役割を発揮していくことが求められています。

教育委員会の設置についての根拠法となる「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年、点検・評価を実施することが義務付けられており、平成20年度に施行され、今年度で15回目となります。

雄武町教育委員会としては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会の事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、ここに令和4年度報告書を作成いたしました。

雄武町教育委員会としては、次年度以降につきましても、点検・評価の実施を通じて、施策の効果の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めてまいりますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年3月

雄武町教育委員会

教育長 豊田 通敏

目 次

はじめに

第1章 教育委員会の活動状況

1	教育委員会の会議の開催状況	1
2	条例・規則等の制定改廃状況	4
(1)	教育関係条例	4
(2)	教育関係規則	4
(3)	教育関係規程	4
(4)	教育関係要綱	4
3	教育委員会委員の活動状況	5
4	審議会等審議概況	7
5	令和3年度予算の状況	8
(1)	教育費の予算	8
(2)	政策予算の内容	8
6	教育関係者の表彰等	12
(1)	雄武町教育功績者表彰	12

第2章 教育委員会の事務事業評価

1	令和3年度実施事業の評価結果	13
(1)	評価対象となる事務事業	13
(2)	事務事業評価結果	13
(3)	事務事業評価結果一覧表	14

資 料

- ・令和3年度実施事業分の事務事業評価調書

第1章 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の会議の開催状況

雄武町教育委員会の会議は原則として公開で、概ね月1回開催しています。

この会議において、教育長及び4名の教育委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する規則の制定など、様々な議題について審議します。

期 日	場 所	付 議 案 件 等
3. 4. 21 【臨時会】	雄武町民 センター 会 議 室	(協議) 成人式について
3. 4. 30	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 語学指導等を行う外国青年就業規則の一部改正について 雄武町コミュニティ・スクール協議会委員の委嘱について 雄武町教育支援委員会委員の任命について 雄武町特別支援教育連携協議会委員の委嘱について 雄武町社会教育委員の委嘱について 雄武町スポーツ推進委員の委嘱について 雄武町図書館協議会委員の委嘱について 雄武町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について (協議) 令和3年度小中学校運動会の開催について (承認) 令和3年度教育費補正予算(第1号)について 令和3年度教育費補正予算(第2号)について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 6. 4	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 令和3年度教育費補正予算(第3号)について 令和3年度教科書展示会について 雄武町社会教育委員の委嘱について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 7. 5	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 雄武町教育委員会職務代理者の事務の委任に関する規則の制定について 雄武町教育委員会公印規則の一部改正について 令和3年度準要保護児童生徒の認定について 雄武町社会教育委員の委嘱について 雄武町図書館協議会委員の委嘱について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 8. 5	雄武町民 センター 会 議 室	(議案) 令和3年度児童の在籍すべき学級について 雄武町スポーツ推進審議会委員の任命について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について

3. 8. 30	雄武町民 センター 会議室	(議案) 令和3年度教育費補正予算(第5号)について 第9地区教科書用図書採択について (協議) 令和3年度小中学校学芸会・学校祭の開催について (承認) 令和3年度教育費補正予算(第4号)について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 9. 30	雄武町民 センター 会議室	(議案) 令和3年度雄武町スポーツ賞表彰について 令和3年度生徒の在籍すべき学級について (協議) 令和3年度全国学力・学習状況調査結果の公表について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 10. 28	雄武町民 センター 会議室	(議案) 令和3年度生徒の在籍すべき学級について 令和3年度準要保護児童生徒の認定について (承認) 令和3年度教育費補正予算(第6号)について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 11. 26	雄武町民 センター 会議室	(議案) 学校職員に係る処分の内申について (協議) 令和3年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果の公表について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
3. 12. 22	雄武町民 センター 会議室	(議案) 令和4年度児童・生徒の就学すべき学級について 雄武高等学校卒業生奨学金等条例施行規則の一部改正について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
4. 1. 31	雄武町民 センター 会議室	(議案) 令和3年度教育費補正予算(第7号)について 令和4年度教育費予算要求について 令和3年度準要保護児童生徒(新入学児童生徒分)の認定について 感謝状の贈呈について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について
4. 2. 28	雄武町民 センター 会議室	(議案) 令和3年度教育費補正予算(第8号)について 令和4年度教育行政執行方針について 雄武町立学校長の免職及び採用内申について 感謝状の贈呈について (協議) 小・中・高の卒業式・入学式について (報告) 教育行政報告について 教育行政執行状況報告について

4. 3. 30	雄武町民 センター 会議室	<p>(議案)</p> <p>令和3年度準要保護児童生徒の認定について 雄武町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正について 雄武町立小中学校通学区規則の一部改正について 雄武町立学校開放に関する実施細則の一部改正について</p> <p>(報告)</p> <p>教育行政報告について 教育行政執行状況報告について</p>
----------	---------------------	---

2 条例・規則等の制定改廃状況

令和3年度に制定改廃された教育関係条例の数は1件、教育関係規則の数は7件、教育関係規程の数は1件、教育関係要綱の数は2件、教育関係要領の数は0件です。

なお、関係事項については次のとおりです。

(1) 教育関係条例

番号	題名	公布年月日	施行年月日
(3年) 3	雄武町立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例	3.3.23	4.4.1

(2) 教育関係規則

番号	題名	公布年月日	施行年月日
(3年) 1	語学指導等を行う外国青年就業規則の一部を改正する規則	3.4.30	3.4.30
2	雄武町教育委員会教育長職務代理者の事務の委任に関する規則	3.7.5	3.7.5
3	雄武町教育委員会公印規則の一部を改正する規則	3.7.5	3.7.5
4	雄武高等学校卒業生奨学金等条例施行規則の一部を改正する規則	3.10.24	3.10.24
(4年) 1	雄武町立学校開放に関する実施細則の一部を改正する規則	4.3.31	4.4.1
2	雄武町立小中学校通学区規則の一部を改正する規則	4.3.31	4.4.1
3	雄武町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部を改正する規則	4.3.31	4.4.1

(3) 教育関係規程

番号	題名	公布年月日	施行年月日
(4年) 1	雄武町教育委員会処務規程の一部を改正する規程	4.3.31	4.4.1

(4) 教育関係要綱

番号	題名	公布年月日	施行年月日
(4年) 1	雄武高等学校卒業生新生活応援給付金支給要綱	4.2.18	4.2.18
2	雄武町特別支援教育連携協議会設置要綱の一部を改正する要綱	4.3.10	4.3.10

3 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、教育委員会議のほか、教育委員会や学校の諸行事等へ出席するなど、教育行政の運営について幅広い活動をしています。

日 付	活 動 内 容	委 員 名
(3年)		
4月 2日 (木)	教職員辞令交付式	教育長、栗山、 今、加賀
4月 6日 (火)	雄武小学校入学式	教育長
	共栄小学校入学式	栗山
	沢木小学校入学式	加賀
	雄武中学校入学式	教育長
4月 8日 (木)	雄武高等学校入学式	教育長
5月10日 (月)	子ども育成会 あいさつ運動	教育長、今、加 賀、河島
5月11日 (火)	子ども育成会 あいさつ運動	教育長、加賀、 河島
6月27日 (日)	豊丘小学校運動会	今
7月 5日 (月)	学校づくり意見交換会	栗山、今、加 賀、河島
7月19日 (月)	雄武中学校運動会	栗山
7月21日 (水)	共栄小学校運動会	
9月14日 (火) 16日 (木)	雄武小学校運動会	
10月 2日 (土)	共栄小学校学芸会	
10月 3日 (日)	豊丘小学校学芸会	教育長、今
10月 9日 (土)	雄武小学校学芸会	

10月17日(日)	沢木小学校学芸会	教育長
10月22日(金)	子ども育成会 あいさつ運動	教育長、河島
10月23日(土)	雄武中学校学校祭	
11月26日(金)	教育委員学校訪問(雄武小、共栄小、沢木小)	全員
11月28日(日)	令和3年成人式	全員
11月29日(月)	教育委員学校訪問(雄武中、豊丘小)	教育長、栗山、河島
(4年) 1月9日(日)	令和4年成人式	教育長、今、加賀、河島
1月31日(月)	教育委員懇話会	全員
2月27日(日)	豊丘小学校閉校式	全員
3月1日(火)	雄武高等学校卒業式	教育長
3月15日(火)	雄武中学校卒業式	教育長
3月18日(金)	雄武小学校卒業式	栗山
3月24日(木)	豊丘小学校卒業式	教育長、栗山、今
	沢木小学校卒業式	加賀
	共栄小学校卒業式	河島

4 審議会等審議概況

雄武町教育委員会に設置している主な審議機関は、次のとおりです。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、コミュニティ・スクール協議会については全体審議を行わず各学校部会の開催のみとなりました。また、その他の委員会についても一部報告案件などは会議を開催せず書面報告としたものもありました。

名 称	委員数	会 議 開催数	審 議 事 項		
			件 数	諮問・決議等	
				種別	年月日
教育支援委員会	9	4	・令和3年度児童の在籍すべき学級について（変更）	諮問	3.8.3
				答申	3.8.3
			・令和3年度生徒の在籍すべき学級について（転入）	諮問	3.9.30
				答申	3.9.30
			・令和3年度生徒の在籍すべき学級について（変更）	諮問	3.10.27
				答申	3.10.27
			・令和4年度新入学児童及び在籍児童生徒の就学すべき学級について	諮問	3.12.3
				答申	3.12.3
コミュニティ・スクール協議会	22	0	各学校部会において学校の運営方針、学校評価等について協議を実施（各校2回開催）		
社会教育委員の会議	12	3	・令和3年度町民大学について 他2件	審議	3.10.15
			・令和3年度社会教育事業について 他3件	審議	3.12.22
			・令和4年度社会教育事業について 他2件	審議	4.3.29
スポーツ推進審議会	5	1	・令和3年度スポーツ賞について 他2件	審議	3.9.21
スポーツ推進委員会	5	1	・令和2年度社会体育施設の状況について 他3件	審議	3.7.1
			・令和3年度社会体育事業について 他2件	審議	3.10.4
			・令和3年度社会体育事業について 他2件	審議	4.3.16
図書館協議会	5	1	・令和3年度図書館まつりについて 他2件	審議	3.8.17
			・令和3年度図書館事業について 他2件（書面報告）	報告	4.3.23
学校給食センター運営委員会	9	0	・令和2年度第3学期末学校給食運営状況報告について 他1件（書面報告）	報告	3.6.8
			・令和3年度第2学期末学校給食運営状況報告について 他2件（書面報告）	報告	4.3.2

5 令和3年度予算の状況

(1) 教育費の予算

令和3年度の教育費についての最終予算は487,835千円で、雄武町一般会計予算の最終予算総額の7,060,572千円に占める割合は、6.9%となっています。また、教育費の予算総額のうち、経常予算額は156,658千円でその割合は32.1%、政策予算額は331,177千円でその割合は67.9%となっています。

(2) 政策予算の内容

政策予算における費目ごとの事業内訳は、次のとおりとなっています。

【総務管理費】

(決算値ベース)

○教育相談員配置事業	4,501千円
○教育施設等管理委託業務	35,205千円
○語学指導を行う外国青年誘致事業	10,052千円
○雄武高等学校存続対策事業	16,377千円
○教職員用パソコン購入(更新)事業	480千円
○コミュニティ・スクール推進事業	84千円
○車両運行業務民間委託事業	33,995千円
○豊丘小学校閉校事業	1,300千円
○移住促進対策事業	2,816千円
○教育情報セキュリティポリシー策定事業	2,200千円

【小学校管理費】

○小学校教育備品整備事業	2,870千円
○雄武町学校教育振興推進協議会補助事業	1,200千円
○要保護・準要保護児童援助事業	1,670千円
○山村留学推進事業	500千円
○言語治療児童援助事業	339千円
○学校環境整備事業	28,196千円
○教職員住宅環境整備事業	26,852千円
○小学校感染症対策事業	2,775千円
○小学校感染症対策事業(繰越明許分)	3,280千円

【小学校教育振興費】

○小学校教育備品整備事業	2,050 千円
○学校図書整備事業	1,496 千円
○教職員教育振興事業	295 千円
○小学校教師用指導書購入事業	200 千円
○小学校児童検定チャレンジ促進事業	270 千円
○児童生徒用コンピューター整備（更新）事業	1,046 千円

【中学校管理費】

○中学校教育備品整備事業	390 千円
○要保護・準要保護生徒援助事業	1,854 千円
○学校環境整備事業	5,709 千円
○中学校感染症対策事業	925 千円
○中学校感染症対策事業（繰越明許分）	820 千円
○スクールバス更新事業	23,931 千円

【中学校教育振興費】

○中学校教育備品整備事業	1,504 千円
○学校図書整備事業	632 千円
○生徒教育振興事業	1,817 千円
○教職員教育振興事業	110 千円
○中学校生徒検定チャレンジ促進事業	250 千円
○中学校教師用指導書購入事業	218 千円
○児童生徒用コンピューター整備（更新）事業	275 千円

【社会教育総務費】

○武雄市児童交流事業	2,096 千円
○芸術文化公演事業	1,000 千円
○陶芸推進事業	1,138 千円
○生涯学習推進事業	100 千円
○社会教育関係団体活動費補助事業	650 千円
○家庭教育推進事業	204 千円
○学校支援活動推進事業	163 千円

【図書館費】

○読書促進事業	7,269 千円
---------	----------

【社会教育施設費】

- 町民センター施設整備事業 4,510 千円
- 町民センター施設整備事業（繰越明許分） 47,970 千円

【保健体育総務費】

- 社会体育団体活動費助成事業 540 千円
- 生涯スポーツ推進事業 120 千円
- 雄武町スポーツ振興事業 1,292 千円

【体育施設費】

- 社会体育施設委託業務事業 9,526 千円
- 体育施設整備事業 792 千円
- 体育施設整備事業（繰越明許分） 1,200 千円

【学校給食費】

- 学校給食センター調理業務委託事業 18,711 千円
- 学校給食食育推進事業 500 千円
- 学校給食子育て支援事業 13,790 千円
- 学校給食センター設備等更新事業 1,122 千円

(参 考)

教育費最終予算の内容 (項、目別予算)

(単位：千円)

項 及 び 目	予 算 額	項 及 び 目	予 算 額
1 教育総務費	118,481	4 社会教育費	87,171
1 教育委員会費	1,346	1 社会教育総務費	6,548
3 総務管理費	117,135	4 図書館費	18,718
2 小学校費	123,238	5 社会教育施設費	61,905
1 学校管理費	109,202	5 保健体育費	91,755
2 教育振興費	14,036	1 保健体育総務費	2,496
3 中学校費	67,190	2 体育施設費	22,192
1 学校管理費	55,472	4 学校給食費	67,067
2 教育振興費	11,718	予 算 額 計	487,835

6 教育関係者の表彰等

令和3年度の雄武町教育功績者表彰及び雄武町スポーツ賞の受賞者は、次のとおりです。

(1) 雄武町教育功績者表彰

(豊丘小学校閉校)

豊丘小学校閉校事業協賛会長 渡 辺 和 基

雄武町立豊丘小学校長 小 西 政 策

(転出学校長)

雄武町立豊丘小学校長 小 西 政 策

雄武町立雄武中学校長 藤 田 哲 也

(2) 雄武町スポーツ賞表彰

(スポーツ奨励賞)

【個人】北海道雄武高等学校 3年 高 宮 成 生

北海道雄武高等学校 3年 高 宮 魁

北海道雄武高等学校 3年 坂 元 拓 斗

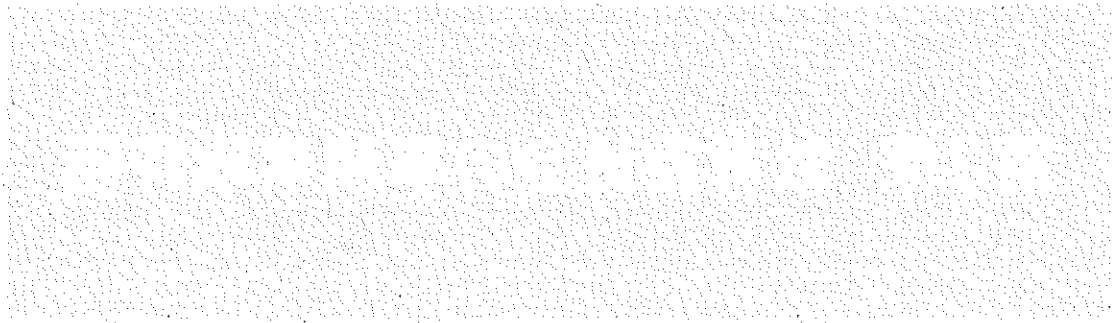
北海道雄武高等学校 2年 大 水 颯 太

雄武町立雄武中学校 3年 大 水 皓 生

【団体】北海道雄武高等学校 卓球部

北海道雄武高等学校 陸上競技部

第2章 教育委員会の事務事業評価



1 令和3年度実施事業の評価結果

(1) 評価対象となる事務事業

令和3年度に実施した事務事業の評価対象件数は、政策予算事業について46件が対象となり、所管分野別の内訳としては、教育総務関係27件、生涯教育関係14件、図書業務関係1件、学校給食関係が4件となっています。

(2) 事務事業評価結果

事務事業の評価方法は、まず所管課ごとの自己評価である一次評価を行い、次にその評価結果にもとづいて副町長をはじめとした庁内の評価会議委員の評価としての二次評価を行います。さらに、重要な政策事業については、三次評価として町長による評価を行って、計画（PLAN）→実施（DO）→評価（CHECK）→改善（ACTION）のサイクル化（PDCAサイクル）により進行管理を行います。

評価対象となった46件の事業についての評価結果は、三次評価対象件数は0件、二次評価対象件数は9件であり、その他の37件については一次評価のみとなっています。評価結果の概要は次のとおりで、事業ごとの評価状況は次頁以降の評価結果一覧表のとおりとなっています。

なお、評価の実施年度は事業を実施した翌年度に行うため、令和3年度事業の調書は、令和4年度事務事業評価調書として作成されます。

評価段階	評価区分	今後の展開方法	件数
一次評価 〔自己評価〕	A 計画どおり事業を進めることが適当	継続／現状維持 継続／拡充 終了	2 8 2
	B 事業の進め方等に改善が必要	継続／現状維持	5
	C 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要		
二次評価 〔評価会議による評価〕	A 計画どおり事業を進めることが適当	継続／現状維持 継続／内容の見直し・変更 継続／拡充 終了	1 1 2 1
	B 事業の進め方等に改善が必要	継続／内容の見直し・変更	2
	C 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要	継続／内容の見直し・変更	2

(3) 事務事業評価結果一覧表

番号	事務事業名	事務事業概要	一次評価	二次評価	三次評価
			上段: 総合評価 下段: 今後の展開方向		
1	教育施設等管理委託業務	民間委託のメリットを活かし、教育委員会所管施設(町内小中学校・町民センター・スポーツセンター・武道センター・テニスコート等)の管理業務を民間委託する。	A 継続/現状維持		
2	教育相談員配置事業	教育に関して専門的な知識を有する教育相談員を配置するとともに、家庭が抱える様々な課題や問題に対応した取り組みを展開する。	A 継続/現状維持		
3	学校環境整備事業	学校施設の経年からなる外壁や塗装の剥離を始めとする危険個所の把握や、施設の適正な維持について状況調査を行い、調査結果を踏まえて計画的に補修工事を行う。	A 継続/現状維持	A 継続/現状維持	
4	スクールバス更新事業	児童生徒が利用するスクールバスを安全に運行するため、老朽化した車両を更新する。	A 終了		
5	教職員住宅環境整備事業	教職員住宅を適切に維持管理するため、老朽箇所の整備、改修を行う。	A 継続/現状維持		
6	へき地小学校巡回事務職員配置事業	小規模校における教頭職の未配置等に伴う教職員の少人数化に伴い、学校経営に支障を来している状況にあることから、学校事務における教職員の多忙感を解消するため、事務職員を配置する。	A 継続/現状維持		
7	豊丘小学校閉校事業	令和3年度末に閉校する豊丘小学校の閉校式及び閉校事業協賛会への支援を行う。	A 終了		
8	雄武町文教地区基本構想策定事業	雄武町教育施設長寿命化計画に基づき、雄武小・中・スポーツ施設等が建設されている文教地区の教育施設について、現状や特性、町民ニーズ等を把握、整理の上、中長期的な視点で総合的に整備、改修を進めるための基本となる構想を策定する。	C 継続/内容の見直し・変更	C 継続/内容の見直し・変更	
9	雄武町教育情報セキュリティポリシー策定事業	GIGAスクール構想の実現に向け、学校における情報セキュリティ対策の考え方を明文化し、情報セキュリティに関する事故防止等に対応する体制を構築する。	A 終了		
10	雄武高等学校存続対策事業	地元高等学校の存続に向けた協議を行い、適宜状況に見合った取り組みを進めるほか、存続のため魅力ある学校づくりのため、各種助成を行う。	A 継続/現状維持		

番号	事務事業名	事務事業概要	一次評価	二次評価	三次評価
			上段:総合評価 下段:今後の展開方向		
11	車両運行業務民間委託事業	スクールバス4台、給食配送車1台、生涯教育バス1台の運行を民間に委託することにより、運行の円滑化を図る。	A 継続/現状維持		
12	言語治療児童援助事業	ことばの発達障がいを持つ児童の早期治療に向けた通級費用の一部助成により、保護者負担の軽減と地区唯一の西紋地区言語治療学級(ことばの教室)の運営・設備維持費の一部負担を行う。	A 継続/現状維持		
13	語学指導を行う外国青年招致事業	児童・生徒の国際理解力の向上並びに英語教育の内容充実に向け、外国語指導助手(ALT)2名を配置する。	A 継続/縮小	A 継続/内容の見直し・変更	
14	小中学校教師用指導書購入事業	教員の指導力向上による教育内容の充実を目的として、教員が使用する指導書を購入し小中学校に配備する。	A 継続/現状維持		
15	雄武町特別支援教育推進事業	学校教育法の特別支援教育の対応として、町内小中学校に在籍する、いわゆる「困り感」をもった児童生徒の学習活動をサポートするため、特別支援教育支援員を配置する。	A 継続/現状維持		
16	ふるさと教員配置事業	小中学校における多種多様な教育活動及び学校事情に応じた教育活動の円滑化を目的に、町独自で臨時教員1名を配置する。	A 継続/現状維持		
17	要保護・準要保護児童生徒援助事業	低所得者層の世帯に対して、児童生徒の教育の機会均等を図り、一定水準の義務教育を保障するため、就学援助費を支給する。	A 継続/現状維持		
18	児童生徒授業用コンピューター整備(更新)事業	新学習指導要領に対応すべく、各校のICT環境を整備し、授業及び学校経営の安定化を図る。	A 継続/拡充	A 継続/拡充	
19	山村留学推進事業	へき地校の存続と教職員確保による教育内容の充実・発展・向上を目指すことを目的に、町内の山村留学制度実施校区に組織される地域協議会に対して、雄武町山村留学推進協議会を通じて運営費等の助成等活動の支援を行う。	A 継続/現状維持		
20	小中学校教育備品整備事業	教育水準向上に向けた義務教材等の整備及び校務推進上必要な管理備品について整備(更新)する。	A 継続/現状維持		

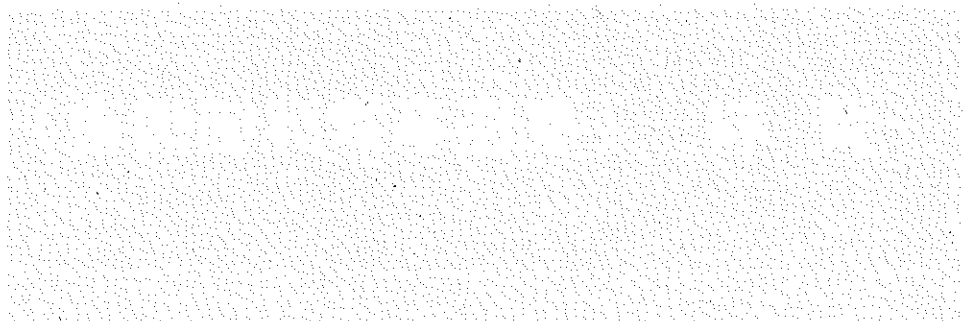
誘導等

番号	事務事業名	事務事業概要	一次評価	二次評価	三次評価
			上段:総合評価 下段:今後の展開方向		
21	生徒教育振興事業	中学校の部活動における中体連等の参加経費を負担する。	A 継続/現状維持		
22	学校図書整備事業	学校教育に欠かせない基礎的設備である学校図書館の図書について、教育課程において必要とされ、かつ時代にあった図書を計画的に配備し、児童・生徒の健全な教養を育成する。	A 継続/現状維持		
23	雄武町学校教育振興推進協議会補助事業	雄武町のすべての児童生徒の望ましい人格形成を目指し、町内の全教育機関が連携を図り、効率的かつ効果的な活動の展開により、雄武町の教育目標達成に向けて、学校教育の振興と教職員の資質向上を図ることを目的に設置する協議会に対して運営費を助成する。	A 継続/現状維持		
24	教職員教育振興事業	都市部と比較して研修機会の少ない町内の学校に勤務する教職員に研修機会を与えとともに、校内研修や公開研究事業を促進し教職員の資質向上を図ることを目的に、先進地視察や校内研修、公開研究に係る費用の一部について助成を行う。	A 継続/現状維持		
25	小中学校児童生徒検定チャレンジ促進事業	小中学生が受験する漢字検定試験及び英語検定試験の受験費用を助成し、児童生徒の語学力向上、学ぶ意欲の育成及び保護者負担の軽減を図る。	A 継続/現状維持		
26	小中学校感染症対策事業	徹底した新型コロナウイルス感染症対策を実施することにより、クラスターの発生防止、感染リスク低減を図る。	A 継続/現状維持		
27	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)推進事業	保護者や地域住民等が積極的に学校運営に参画することにより、地域と学校の連携の強化、協働による学校づくりの体制構築を図る。	B 継続/内容の見直し・変更	B 継続/内容の見直し・変更	
28	生涯学習推進事業	町民のライフステージやニーズに応じ、生涯にわたり学び・学習の活動を続けていくために、講座及び学習会等を開催する。	B 継続/現状維持	B 継続/現状維持	
29	武雄市児童交流事業	児童を武雄市に派遣すること及び武雄市児童を受け入れることによって、異なる地域の気候や生活、文化に対する理解と寛容を養うために地域間の交流を図る。	A 継続/現状維持		
30	家庭教育推進事業	休日の拡大に伴い、地域や家庭における教育の役割も増大しており、教育力の低下も叫ばれている中で、子育てをする上で最も大切な場である家庭での教育のあり方等、学習機会の支援を行う。	B 継続/現状維持		

番号	事務事業名	事務事業概要	一次評価	二次評価	三次評価
			上段:総合評価 下段:今後の展開方向		
31	社会教育関係団体活動費補助事業	社会教育を推進する中核的な組織(文化連盟・子ども育成会・PTA連合会)に対して補助を行い、地域の活性化を促進する。	A 継続/現状維持		
32	社会体育団体活動費助成事業	スポーツ少年団本部、単位スポーツ少年団、スポーツ協会及び加盟単位団体の活動を助長させるため補助金を交付する。	A 継続/現状維持		
33	雄武町スポーツ振興事業	各種スポーツの全国・全道大会へ出場する個人又は団体に対し、経費の一部を補助する。	A 継続/拡充		
34	生涯スポーツ推進事業	少子高齢化や人口減少に伴い、町民がスポーツを親しむ機会及びスポーツ人口が減少していることから、各種スポーツ大会やスポーツ教室などを複合的・横断的に開催し、スポーツ活動の活性化を図る。	B 継続/現状維持		
35	芸術文化公演事業	舞台芸術の機会に恵まれない本町において、児童・生徒等を対象に演劇や音楽などの鑑賞機会を支援し、生の芸術にふれる場をつくり、情操の涵養を図るとともに芸術への理解を深め、地域文化の活性化を図る。	B 継続/現状維持		
36	陶芸推進事業	地域に根付いてきた陶芸文化をより多くの町民がふれあうことが出来るよう、施設の管理体制を整え、維持管理を行うことで利用の拡大を図る。	B 継続/現状維持		
37	雄武町芸術文化振興事業	本町の文化・芸術活動の振興を図るため、発表会・大会に出場する個人・団体に対して必要経費の一部を助成する。	B 継続/現状維持		
38	学校支援活動推進事業	地域の教育力活用を通じて地域全体で学校教育を支援する体制を構築し、学校の教育力を向上させるとともに、学校支援ボランティア活動を通じた地域コミュニティの活性化を推進する。	A 継続/現状維持		
39	町民センター施設整備事業	利用者の安全性確保及び利便性の向上のため、老朽化部分の計画的な整備を行う。	A 継続/現状維持		
40	体育設備整備事業	スポーツ活動の拠点となる施設を良好な状態に維持することで、スポーツ活動の活性化を図る。	A 継続/拡充		

番号	事務事業名	事務事業概要	一次評価	二次評価	三次評価
			〔 上段:総合評価 下段:今後の展開方向 〕		
41	社会体育施設委託業務事業	施設の適正且つ効率的な維持管理を図り、利用者に対してより良いサービスの提供を図られる。	A 継続/現状維持		
42	読書促進事業	多様な学習目的と複雑かつ高度化する生涯学習ニーズ及び利用者の利便性の向上に対応するため、図書館蔵書の整備を行う。	A 継続/拡充	A 継続/拡充	
43	学校給食子育て支援事業	学校給食費費保護者負担金について助成を行うことにより、子育てに係る保護者の負担を軽減し、安心して子育てできる環境づくりを図る。	A 継続/現状維持		
44	学校給食調理業務委託事業	調理業務民間委託により衛生管理や調理作業の効率性が向上し、適正なコストで安全・安心な学校給食を提供する体制の構築を図る。	A 継続/現状維持		
45	学校給食食育推進事業	学校指導要領の特別課程に位置付けられている学校給食における、食育と地産地消の観点からの啓発の推進を図る。	A 継続/現状維持		
46	学校給食センター設備等更新事業	学校給食センターの設備・備品のうち、老朽化したものについて適宜更新を行う。	A 継続/現状維持		

資料（事務事業評価調書）



第6期 雄武町総合計画 前期実施計画 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010090

【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は記載		1 一般会計	No. 12010090			
3 達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～	事業優 先 度	B	令和 2 年度 事業 内容	令和 3 年度 事業 内容	令和 4 年度 事業 内容	
基本施策 11 学校の教育の充実 事業名 教育施設等管理委託業務 事業期間 平成30年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業指標 教育施設等の適切な維持管理 事業目標 委託対象全施設 町民参加 無 町民協働 無	3	B	維持管理業務の委託	維持管理業務の委託	維持管理業務の委託	維持管理業務の委託
事業優 先 度 政策 事 務 分 類 見 直 し 年 度 担 当 課 関 係 課 ハート/ソフト 事業区分 関係例規・法令名 関係個別計画名		3 単独自治事務(その他) 12 教育委員会教育振興課 #N/A #N/A 2 ソフト事業 無 無	維持管理業務の委託	維持管理業務の委託	維持管理業務の委託	維持管理業務の委託
全 体 計 画 内 容		平成 30 年度 事業 内容	令和 2 年度 事業 内容	令和 3 年度 事業 内容	令和 4 年度 事業 内容	
教育委員会所管施設の維持管理業務の委託 ・小中学校全校 ・町民センター ・テニスコート ・スポーツセンター ・武道センター ・図書館		維持管理業務の委託	維持管理業務の委託	維持管理業務の委託	維持管理業務の委託	
計 画 内 容		事業 費 (千円)	32,938	35,068	35,500	31,600
財 源		国庫支出金	0	0	0	0
財 源 内 訳		道 支 出 金	0	0	0	0
		地 方 債	0	0	0	0
		そ の 他	0	0	0	0
		一 般 財 源	167,445	35,068	35,500	31,600
事 業 費 (千円)		国庫支出金	0	0	0	0
		道 支 出 金	0	0	0	0
		地 方 債	0	0	0	0
		そ の 他	0	0	0	0
		一 般 財 源	133,401	34,980	35,204	31,600
特 定 財 源 の 名 称		133,401	34,980	35,204	35,204	31,600
		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
		教育委員会所管施設の維持管理業務の民間委託	教育委員会所管施設の維持管理業務の民間委託	教育委員会所管施設の維持管理業務の民間委託	教育委員会所管施設の維持管理業務の民間委託	教育委員会所管施設の維持管理業務の民間委託
【評 価 ・ 実 績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託対象全施設	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託対象全施設	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託対象全施設	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託対象全施設	※事務事業評価結果 委託対象全施設
第5期計画からの継続 (継続有り)		97%	100%	99%	99%	0%
後期計画への継続 (継続有り)		19%	59%	80%	80%	80%
年 度 目 標 値		97%	100%	99%	99%	0%
年 度 達 成 率		19%	59%	80%	80%	80%
全 体 達 成 率		19%	59%	80%	80%	80%
備 考						
関 連 事 項						

事業名	教育施設等管理委託業務	評価者	管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者	作成者 職氏名	川口 敦史
			教育振興課長	
			総務管理係長	

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)	児童・生徒、地域住民	各施設の適切な維持管理
誰、何が(対象)	児童・生徒、地域住民	
抱える課題やニーズ	民間活力を活用した施設管理の維持	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	町民サービスの低下を招くことなく、民間活力を活用した施設管理の維持を図る。	
その結果、どのような成果を 実現したか	学校環境整備による児童・生徒の学校生活の充実及び町民の文化・スポーツの振興並びに施設管理のコスト削減を図る。	
※成果＝目的	施設管理の民間委託	
内容(どのような手段で何を 行ったか)	専門性を必要とする業務が含まれることから、民間へ施設管理委託を行っており、教育委員会所管施設の効率的かつ適切な維持管	

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	指標(指標計算式/解説)	目標年度	実績年度	目標値	実績値
①	管理委託施設数	令和3年度	令和3年度	10施設	10施設
②		達成率		100.0%	

■事務事業の評価(Check)		■総合評価(A~D)	
(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして受当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や原直しによる対応可能性)	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 必要/概ね必要 <input checked="" type="checkbox"/> 課題あり	A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等 D:事業効果が著れない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等	町長評価(三次評価)
(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)	<input type="checkbox"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有効/概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題あり	自己評価(一次評価) A 民間委託により直営管理と同様の効率的な管理及び適切な維持管理が行われており、計画どおり事業が進んでいます。	町長評価(二次評価)
(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか)	<input type="checkbox"/> 判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	今後の展開方向 (Action)	
(4)事務事業の公平性	<input type="checkbox"/> 判断の理由 <input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	継続/現状維持 民間委託により、民間活力を活用した適切な施設管理が実施されているとともに、児童・生徒の学校生活の充実及び町民の文化・スポーツの振興が図られていることから、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。	

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010160

政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～	
基本施策	11 学校教育の充実	
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	
事業名	学校環境整備事業	
事業期間	平成30年度～令和4年度	
事業主体	雄武町	
事業指標	学校施設の適正な維持管理	
事業目標	小学校4校・中学校1校	
町民参加	無	
町民協働	無	
事業優先度	A	
政策事区分	3 単独自治事務(その他)	
見直し年度	12 教育委員会教育振興課	
担当	10 建設水道課	
関係	11 建設水道課(建築)	
ハート/ソルト事業区分	1 ハート事業	
関係例規・法令名	無	
関係個別計画名	無	

【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は記載

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
・学校施設の経年からなる老朽化等に対する 改修工事等の実施 ・小規模修理・改修工事の実施 (各学校施設修理改修事業と統合)	豊丘小学校トイレ改修工事 10,130千円 豊丘小学校体育館暖房機更新工事 4,800千円 町内小学校遊具改修工事(沢木小) 3,700千円 小規模修理・改修工事 一式 2,200千円 学校プール改修工事 28,050千円 雄武小学校暖房機改修工事 3,290千円	豊丘小学校トイレ改修工事 10,130千円 豊丘小学校体育館暖房機更新工事 4,800千円 町内小学校遊具改修工事(沢木小) 3,700千円 小規模修理・改修工事 一式 2,200千円 学校プール改修工事 28,050千円 雄武小学校暖房機改修工事 3,290千円	沢木小学校トイレ改修工事 12,480千円 共栄小学校トイレ改修工事 4,000千円 町内小学校遊具改修工事(沢木小) 3,700千円 小規模修理・改修工事 一式 3,000千円 学校プール改修工事 9,800千円 雄武中学校体育館屋根等改修工事 31,850千円	小規模修理・改修工事 一式 3,000千円 雄武小学校周辺整備工事 7,000千円 沢木小学校屋上防水改修工事 12,000千円 雄武小学校体育館照明LED改修工事 7,270千円 雄武中学校体育館改修工事 3,380千円 雄武小学校体育館授業用インタ-ネット回線整備委託 2,228千円	小規模修理・改修工事 一式 3,000千円 雄武小学校周辺整備工事 7,000千円 沢木小学校屋上防水改修工事 12,000千円 雄武小学校体育館照明LED改修工事 7,270千円 雄武中学校体育館改修工事 3,380千円 雄武小学校体育館授業用インタ-ネット回線整備委託 2,228千円	小規模修理・改修工事 一式 3,000千円 可動式黒板設置工事 8,150千円 雄武小学校暖房機改修工事 4,719千円		
事業費(千円)	197,917	197,917	197,917	197,917	197,917	197,917	197,917	
財源内訳	国庫支出金 16,738 道支 0 地方債 37,400 その他 64,755 一級財源 79,024	国庫支出金 16,738 道支 0 地方債 37,400 その他 64,755 一級財源 79,024	国庫支出金 16,738 道支 0 地方債 37,400 その他 64,755 一級財源 79,024	国庫支出金 16,738 道支 0 地方債 37,400 その他 64,755 一級財源 79,024	国庫支出金 16,738 道支 0 地方債 37,400 その他 64,755 一級財源 79,024	国庫支出金 16,738 道支 0 地方債 37,400 その他 64,755 一級財源 79,024	国庫支出金 16,738 道支 0 地方債 37,400 その他 64,755 一級財源 79,024	
事業費(千円)	127,738	127,738	127,738	127,738	127,738	127,738	127,738	
財源内訳	国庫支出金 8,783 道支 0 地方債 47,200 その他 46,300	国庫支出金 8,783 道支 0 地方債 47,200 その他 46,300	国庫支出金 8,783 道支 0 地方債 47,200 その他 46,300	国庫支出金 8,783 道支 0 地方債 47,200 その他 46,300	国庫支出金 8,783 道支 0 地方債 47,200 その他 46,300	国庫支出金 8,783 道支 0 地方債 47,200 その他 46,300	国庫支出金 8,783 道支 0 地方債 47,200 その他 46,300	
特種財源の名称	特種財源の名称							
学校施設環境改善交付金 ふるさと応援基金繰入金 公共施設等適正管理 推進事業債	学校施設環境改善交付金 ふるさと応援基金繰入金 公共施設等適正管理 推進事業債							
関連事項	【評価・実績】 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 小学校4校・中学校1校 31% 5%							
第5期計画からの継続 (継続有り)	第5期計画からの継続 (継続有り)							
後期計画への継続 (継続有り)	後期計画への継続 (継続有り)							
年度目標値	年度目標値							
年度達成率	年度達成率							
全体達成率	全体達成率							
備考	備考							
年度目標値	年度目標値							
年度達成率	年度達成率							
全体達成率	全体達成率							
備考	備考							

事業名	学校環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	川口 敦史
		教育振興課長	
		総務管理係長	

事業の目的・内容(Plan・Do)	学校関係施設	学校施設の適切な維持管理
誰、何が(対象)		
抱える課題やニーズ	安全で安心な教育環境を維持するため、老朽箇所の整備が必要である。	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	児童生徒が安心して学校生活を過ごすことができる環境を整備するとともに、施設の延命化を図る。	
その結果、どのような成果を表現したか ※成果＝目的	児童・生徒、保護者及び学校関係者が安全で安心できる教育環境づくりを推進する。	
内容(どのような手段で何を行ったか)	<p>学校要望調査の実施</p> <p>状況把握</p> <p>工事施工</p>	<p>各学校における修理等要望調査を実施し、実施箇所の決定を行っています。</p> <p>学校管理職、工事担当課との現状確認により、緊急性や必要性を考慮し、翌年度の工事施工箇所及び工法について確認しています。</p> <p>教育環境を維持するために各種工事を発注しています。</p>

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)

指標(指標計算式/解説)

①	町内学校施設	目標年度	令和3年度
		実績年度	5校
		達成率	100.0 %
②		目標年度	年度
		実績年度	年度
		達成率	年度

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	<input type="checkbox"/>

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	<input type="checkbox"/>
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	下回る	<input type="checkbox"/>

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	必要工事の精査、費用積算についても効率性を重視しています。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	<input type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	児童・生徒が等しく安全性の受益を享受することができているので、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等

B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等

C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等

D:事業効果が表れていない。事業の統合、休、廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	A	評価会議評価(二次評価)		町長評価(三次評価)	
児童生徒が教育を受けるための環境づくりを通じて、保護者が安心して子どもを学校に通わせられる環境が整備されており、計画どおり事業が進んでいます。					
今後の展開方向(Action)					

継続/現状維持	令和元年度に策定した教育施設長寿命化計画等に基つき、計画的に事業を進めることが必要であることから、随時事業内容を整理しながら環境整備を図りま
---------	--

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010180

政策目標 3	【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～	会計区分 1	一般会計
基本施策 11	学校教育の充実	事業優先度	A
単位施策 2	小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)
事業名	スクールバス更新事業	見直し年度	
事業期間	令和3年度	担当	12 教育委員会教育振興課
事業主体	雄武町	関係	#N/A
事業指標	スクールバス更新		#N/A
事業目標	4台	ハート/ソフト事業区分	1 ハード事業
町民参加	無	関係例規・法令名	
町民協働	無	関係個別計画名	

【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載

計画内容	令和3年度 事業内容		令和4年度 事業内容	
	令和3年度 事業内容	令和4年度 事業内容	令和3年度 事業内容	令和4年度 事業内容
事業費(千円) 国庫支出金 28,000 道支出金 3,750 地方債 0 その他 16,200 一般財源 0 事業費(千円) 23,640 国庫支出金 3,750 道支出金 0 地方債 16,200 その他 0 一般財源 3,690	0	0	28,000	0
特定財源の名称 ※地産地消推進助成金 過疎対策事業債	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
【評価・実績】	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
第5期計画からの継続 (継続有り) 後期計画への継続 (継続有り)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
年度目標値 年度達成率 全体達成率 備考	0%	0%	84%	84%

※事務事業評価結果 A-終了 1台

事業名	スクールバス更新事業	評価者	管理職 職氏名	中村 文隆
事業の目的・内容 (Plan・Do)	児童、生徒	評価者	作成者 職氏名	川口 敦史

誰、何が(対象)	児童、生徒	目指す成果	スクールバス購入台数
抱える課題やニーズ	児童生徒が利用するスクールバスについては、老朽化が進んでいるため、更新等の整備が必要である。	指標(指標計算式/解説)	目標年度 実績年度 達成率 100.0 %
どのような状態になることを目指したのか(意図)	児童生徒の登下校時、学校行事等の円滑な運用の推進を図る。	①	目標年度 実績年度 達成率 100.0 %
その結果、どのような成果を 実現したのか ※成果=目的	児童生徒、保護者及び学校関係者が安全で安心でできる教育環境づくりを推進する。	②	目標年度 実績年度 達成率 100.0 %
内容(どのような手段で何を 行ったか)	スクールバスの購入 走行予定地区の乗車予定人数のスクールバスを購入しています。		

■事務事業の評価(Check)
(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や原価しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	業務的なもの	児童生徒が利用するスクールバスについては、経年により老朽化が進んでおり、更新が必要であると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)
設定した目標値の達成状況

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	スクールバスの更新整備を進めたことにより、登下校時及び学校行事に支障を来すことなく、円滑な学校経営が推進されていると判断します。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

判断の理由	国からの補助金の交付を受けており、コストに見合った効果が得られていると判断します。
効率的	<input checked="" type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>
課題あり	<input type="checkbox"/>

(4)事務事業の公平性

判断の理由	登下校のみならず、学校行事においてもスクールバスを利用することから公平性は保たれていると判断します。
公平	<input checked="" type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>
不公平/不公平でない	<input type="checkbox"/>

■その他特記事項(アンケート調査を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が得られていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		

今後の展開方向 (Action)

終了

スクールバスの更新整備により、児童生徒の安全が確保されており、計画どおり事業が進んでおります。

スクールバス全車両の更新が完了しました。

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010200

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 11 学校教育の充実 単位施策 2 小中学校の教育環境の充実	会計区分 1 一般会計 事業優先度 B 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 見直し年度 担当課 12 教育委員会教育振興課 関係部 課 #N/A ハート/ソフト事業区分 1 ハード事業 関係例規・法令名 関係個別計画名	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載
事業名 教職員住宅環境整備事業 事業期間 平成30年度～令和3年度 事業主体 雄武町 事業目標 教職員住宅の適切な維持管理 事業目標 各小・中学校教職員住宅 町民参加 無 町民協働 無		

計画内容	令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
教職員住宅の改修 改修計画策定の再検討	学校教職員住宅改修工事 27,589千円 沢木小学校教職員住宅支障木伐採工事 1,500千円			
事業費(千円) 国庫支出金 29,089 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 29,089 事業費(千円) 9,797	0	0	29,089	0
国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 9,797	0	0	9,797	0
特定財源の名称 (実施内容等) (実施内容等) (実施内容等)				
実績事業費 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 9,797				
関連事項 【評価・実績】 ※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・変更 ※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・変更				
第5期計画からの継続 (継続有り) 後期計画への継続 (継続有り)				
年度目標値 年度達成率 全体達成率 備考				
	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	0%	0%	34%	34%
	0%	0%	34%	34%

事業名	教職員住宅環境整備事業	評価者	菅理職 藤氏名 評価者 作成者 藤氏名	中村 文隆 川口 敦史
-----	-------------	-----	------------------------	----------------

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	教職員	工事件数	目標年度	実績年度	目標値	実績値	達成率
抱える課題やニーズ	教職員住宅の老朽化に伴い部分改修や住環境の整備が必要である。	①	令和3年度	令和3年度	7件	7件	100.0%
どのような状態になることを目指したのか(意図)	老朽化住宅の整備を推進するほか、住環境の整備し、	②					
その結果、どのような成果を表現したか ※成果=目的	良好な住環境の整備を推進する。						
内容(どのような手段で何をを行ったか)	住宅配管改修工事 住宅支障木伐採						

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や原価しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>
課題あり	<input type="checkbox"/>

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>
課題あり	<input type="checkbox"/>

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>
課題あり	<input type="checkbox"/>

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>
不公平/不公平でない	<input type="checkbox"/>

■その他特記事項(アンケート調査を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D:事業効果が衰えている。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		



継続/現状維持	未改修住宅においても同様の改修を必要とするため、事業継続する必要があります。
---------	--

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画 兼 事務事業事後評価調査

様式1

政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と視点づくり～	会計区分	1 一般会計	No.	12010210
基本施策	11 学校教育の充実	事業優先度	A	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は記載	
専任職	2 小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	へき地小学校巡回事務職員配置事業	見直し年度			
事業期間	平成30年度～令和4年度	担当	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町	関係	#N/A		
事業指標	事務職員配置人数	関係	#N/A		
事業目標	1人	ハート/ソフト	事業区分	2 ソフト事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	無		
町民協働	無	関係個別計画名	無		
事業内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
へき地小学校への事務職員の配置	事務職員の配置	事務職員の配置	事務職員の配置	事務職員の配置	事務職員の配置
事業費(千円)	15,982	3,000	3,000	3,591	3,391
国庫支出金	0				
道支支出金	0				
地方債	0				
その他	30	10	10		
一般財源	15,952	2,990	2,990	3,591	3,391
事業費(千円)	8,243	1,203	2,431	1,961	0
国庫支出金	0				
道支支出金	0				
地方債	0				
その他	21	7			
一般財源	8,222	1,201	2,424	1,961	
特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
雇用保険納付金	巡回事務職員1人の配置 (豊丘小学校)	巡回事務職員1人の配置 (共栄小学校)	巡回事務職員1人の配置 (共栄小学校)	巡回事務職員1人の配置 (共栄小学校)	巡回事務職員1人の配置 (共栄小学校)
関係事項	※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更 1名 40%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 1名 81%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 1名 88%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 1名 55%	※事務事業評価結果 ※事務事業評価結果 1名 52%
第5期計画からの継続 (継続有り)	0%	8%	23%	39%	52%
後期計画への継続 (継続有り)					
年度目標値					
年度達成率					
全体達成率					
備考					

事業名	へき地小学校巡回事務職員配置事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	川口 敦史
		教育振興課長	
		総務総務係長	

■ 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が(対象)	へき地小学校	事務職員未配置校に対する配置
抱える課題やニーズ	児童数の減少のため教職員の定数減により、小規模校への事務職員が未配置となる。	目標年度 令和3年度 1人
どのような状態になることを目指したのか(意図)	町費負担の事務職員を配置することにより、各教職員が職位に応じた業務を遂行でき る。	実績年度 令和3年度 1人
その結果、どのような成果を 実現したのか ※成果＝目的	適正な学校経営が図られる。	達成度 100.0 %
内容(どのような手段で何を 行ったか)	各学校の状況把握 事務職員の配置決定	目標年度 達成度
	小中学校教職員の配置基準により、町内小中学校の教職員配置を把握し、巡回事務職員配置の判断をしています。	実績年度 達成度
	事務職員が未配置となる共栄小学校に配置することができた。	達成度

■ 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や員直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	町費負担の事務職員を配置することにより、各教職員が職位に応じた業務の遂行を可能とする体制が整備されていると判断します。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げた工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	学校に配置するにあたりコストに見合った効果が得られたものと判断します。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	全小中学校に事務職員が配置されているため、公平性は確保されていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■ その他特記事項(アンケート調査を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の員直しが必要等
- D: 事業効果が見えていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		



継続/現状維持	次年度においても、共栄小学校の事務職員が未配置となり、さらに児童数減により教頭も未配置となることから、町費負担での任用事務を進めることとします。
---------	--

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は補充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

No. 12010223

政策目標	3. 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～		
基本施策	11. 学校教育の充実		
単位施策	2. 小中学校の教育環境の充実		
事業名	豊丘小学校閉校事業		
事業期間	令和2年度		
事業主体	雄武町		
事業目標	閉校式の挙行枚数		
事業目標	1校		
町民参加	有		
町民協働	有		

【全体計画内容】	1. 一般会計		
事業優先度	A		
政策事務分類	3. 単独自治事務(その他)		
見直し年度	12. 教育委員会教育振興課		
関係	#N/A		
関係	#N/A		
ハート/ソフト事業区分	2. ソフト事業		
関係例規・法令名			
関係個別計画名			

【前期実施計画内容】	令和3年度		
事業内容	事業協賛会への補助 1,000千円 閉校式開催諸経費 1,000千円		
令和4年度	事業内容		
事業内容			

計画内容	令和3年度 事業内容	令和2年度 事業内容	令和元年度 事業内容	平成30年度 事業内容	令和4年度 事業内容
閉校式事業実施に係る協賛会への補助	2,000	0	0	0	0
事業費(千円)	2,000	0	0	0	0
国庫支出金	0				
道支金	0				
地方債	0				
その他	0				
一般財源	2,000				
事業費(千円)	1,043				
国庫支出金	0				
道支金	0				
地方債	0				
その他	0				
一般財源	1,043				
特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	豊丘小学校閉校事業補助金	豊丘小学校閉校式典			
関連事項	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
第5期計画からの継続	1校	1校	0%	0%	52%
後期計画への継続			0%	0%	52%
備考					

【評価・実績】

事業名	豊丘小学校閉校事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	川口 敦史
		教育振興課長	
		総務管理係長	

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)		豊丘小学校 児童・教員・元教員・卒業生・地域	
誰、何が(対象)	豊丘小学校 児童・教員・元教員・卒業生・地域	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	助成対象となる閉校数
抱える課題やニーズ	式典の開催や記念誌の作成など、豊丘小学校関係者の想いを形にする必要がある	指標(指標計算式/算式)	① 閉校数 ② 100.0 %
どのような状態になることを目指したのか(意図)	豊丘小学校関係者が閉校協議会を設立し、閉校式典の運営の基礎や準備を行うほか、記念誌の作成	目標年度	令和3年度
その結果、どのような成果を實現したか ※成果=目的	豊丘小学校関係者が満足することを旨とした。	目標年度	令和3年度
内容(どのような手段で何を行ったか)	豊丘小学校閉校事業補助金 閉校事業協議会へ補助金を交付することにより、地域の意向を閉校事業へ反映させるたほか、記念誌の作成をはじめとする閉校の準備を行った。	実績年度	令和3年度
		達成年度	令和3年度
		実績年度	令和3年度
		達成年度	令和3年度

■事務事業の評価(Check)
 (1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	卒業生や地域の思い入れがある学校の閉校に伴う式典は必要なものである。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)	
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>
有効/課題あり	<input type="checkbox"/>

式典は滞りなく無事実施することができ、学校や協議会の思いが十分に詰まった記念誌が作成できた。

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)	
概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>
効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>

判断の理由
 式典実施にあたり、地域の協力を得て駐車場設置の除雪をするなどして事業費抑制を図り、コストに見合った効果が得られたものと判断します。

(4) 事務事業の公平性	
公平	<input checked="" type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>
公平/課題ない	<input type="checkbox"/>

判断の理由
 全町民に閉校式典への案内をしていることから、公平性は確保されていると判断します。

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

総合評価【A~D】	
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等	
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない、事業の進め方に改善が必要等	
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等	
D:事業効果が乏しい、事業の統合、休・廃止の検討が必要等	
自己評価(一次評価)	A
評価会議評価(二次評価)	
町長評価(三次評価)	
閉校式典の実施目標は達成された。	
今後の展開方向(Action)	
終了	
目標が達成されたことから、本事業は終了とします。	

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

No. 12010224

<p>政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 11 学校教育の充実 単位施策 2 小中学校の教育環境の充実 事業名 雄武町文教地区基本構想策定事業 事業期間 令和3年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業指標 内部会議開催 事業目標 調査研究 町民参加 無 町民協働 無</p>	<p>【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載 後期実施計画での予定内容 ・住民アンケートの実施 ・教育施設の現状調査の実施 ・先進地調査の実施 ・住民ワークショップの実施</p>	1 一般会計	A	3 単独自治事務(その他)	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A			
<p>事業優先度 政策事務分類 年度 見直し 年度 担当 課 関係 課 ハート/ソフト 事業区分 関係別強・法 各名 関係個別計画名 有 雄武町教育施設長寿命化計画</p>															
<p>雄武町文教地区基本構想の策定</p>															
計画内容	平成30年度 事業内容			令和元年度 事業内容			令和2年度 事業内容			令和3年度 事業内容			令和4年度 事業内容		
事業費 (千円)	0														
	国庫支出金	0													
道支金	0														
地方債	0														
その他	0														
一般財源	0														
事業費 (千円)	0														
国庫支出金	0														
道支金	0														
地方債	0														
その他	0														
一般財源	0														
特定財源の名称	(実施内容等)														
関連事項	【評価・実績】														
	※事務事業評価結果														
第5期計画からの継続	#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!		
後期計画への継続	#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!		
	年度目標値			年度達成率			全体達成率			備考					
※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 C-総括/内容の見直し・変更 会議開催														
※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 ※事務事業評価結果 (実施内容等)														
※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 (実施内容等)														
※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 (実施内容等)														
※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 (実施内容等)														
※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 (実施内容等)														

事業名	雄武町文教地区基本構想策定事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	総務管理係長	川口 敦史

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町、教育委員会など
抱える課題やニーズ	雄武小中学校の老朽化による建替の時期を向かえていることから、雄武町文教地区基本構想策定の策定に向け、将来的な学校の在り方を整理する必要がある。
どのような状態になることを目指したのか(意図)	関係機関が各々の見地から意見を出し合える状態を目指した。
その結果、どのような成果を實現したいか ※成果＝目的	各関係機関との協議を交わしまとめることにより、雄武町文教地区基本構想策定のための教育委員会の基本方針の策定したい。
内容(どのような手段で何を行ったか)	

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)

①	指標(指標計算式/解説)	会議数	内部会議等の開催
	目標年度	実績年度	実績値
		令和3年度	3回
		令和4年度	0回
②	達成率	0.0%	
	目標年度	実績年度	実績値
		令和3年度	
		令和4年度	

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	<input type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断理由
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断理由
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	事業費は生じていないことから、公平性は確保されていると判断します。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益者が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない、事業の進め方に改善が必要等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C		
コロナ禍のため、各関係機関において先進地視察が出来なかつたことから、協議する会議の開催には至らなかつた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/内容の見直し・変更
教育委員会の基本方針を策定し関係機関へ発信する等として、意見を交わすための関係機関の雄武町文教地区基本構想策定に必要な情報の足掛かりや資料を提供する。

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又はは統合又はは内容の見直し・変更
- 終了
- 休止
- 廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

No. 12010225

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 11 学校教育の充実 単位施策 2 小中学校の教育環境の充実	事業名 雄武町教育情報セキュリティポリシー策定事業 事業期間 令和3年度 事業主体 雄武町 事業目標 雄武町教育情報セキュリティポリシーの策定 雄武町教育情報セキュリティポリシーの策定 町民参加 無 町民協働 無	会計区分 1 一般会計 事業優先度 A 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 員直し年度 12 教育委員会教育振興課 担当 係 課 #N/A 関係 課 #N/A ハート/ソフト事業区分 2 ソフト事業 関係例規・法令名 関係個別計画名	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は記載
--	--	---	----------------------------------

計画内容	令和3年度		令和2年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
雄武町教育情報セキュリティポリシーの策定	0	0	0	2,200	0	0
事業費(千円)	2,200	0	0	2,200	0	0
財源内訳	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,200	0	0	2,200	0	0
事業費(千円)	2,200	0	0	2,200	0	0
財源内訳	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,200	0	0	2,200	0	0
特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
【評価・実績】	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
第5期計画からの継続	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
後期計画への継続	0%	0%	0%	100%	100%	100%
年度目標値	0%	0%	0%	100%	100%	100%
年度達成率	0%	0%	0%	100%	100%	100%
全体達成率	0%	0%	0%	100%	100%	100%
備考						

事業名	雄武町教育情報セキュリティポリシー策定事業	評価者	管理職 職氏名	教育振興課長	中村 文隆
		評価者	作成者 職氏名	総務管理係長	川口 敦史

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

<p>学校、教職員及び児童生徒</p> <p>総務省並びに文科省においてセキュリティポリシーの見直しが行われたことにより、これらに即した新たな策定が必要である。</p> <p>雄武町学校セキュリティポリシーを策定</p> <p>雄武町学校セキュリティポリシーを策定</p> <p>雄武町学校セキュリティポリシーを策定</p>	<p>望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)</p> <p>① 指標(指標計算式/解説)</p> <p>策定件数</p> <p>②</p>	<p>雄武町学校セキュリティポリシーの策定</p> <table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	目標値	実績値	達成率	令和3年度	1件	1件	100.0%
目標年度	目標値	実績値	達成率							
令和3年度	1件	1件	100.0%							
<p>どのような状態になることを目指したのか(意図)</p> <p>その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果＝目的</p> <p>内容(どのような手段で何を行ったか)</p> <p>専門知識のある業者へ委託した。</p>										

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担当必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
不公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益者が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない、事業の進め方に改善が必要等
- C:当初の計画を達成できていない、事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D:事業効果が表れていない、事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
雄武町学校セキュリティポリシーを策定できたことから目標は達成されたものです。		



終了	目標が達成されたことから、本事業は終了となります。
----	---------------------------

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容は見直し・変更
- 終了
- 休止
- 廃止

第6期 雄武町町総画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010240

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 11 学校教育の充実 単位施策 4 魅力ある高校づくりに向けた支援の強化 事業名 雄武高等学校存続対策事業 事業期間 平成30年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業指標 雄武高等学校の存続に向けた各種施策の実施 事業目標 雄武高等学校入学者数20人の確保 町民参加 有	会計区分 1 一般会計 事業優先度 A 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 見直し年度 12 教育委員会教育振興課 担当 係 課 #N/A 関係部署 課 #N/A ハート/ソフト事業区分 2 ソフト事業 関係別記・法令名 有 雄武高等学校遠距離通学生徒奨励金交付要綱・雄武高等学校卒業生奨励金受給要綱 関係別記・計画名 無	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載
---	--	-------------------------------------

計画内容	令和3年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
雄武高等学校の存続に向けた協議・取組を進める	遠距離通学生徒通学費補助 1,400千円 部活動関係振興事業補助 1,400千円 就学支援補助 900千円 資格取得受験費用の助成 200千円 見学旅行参加助成金 750千円	遠距離通学生徒通学費補助 1,400千円 部活動関係振興事業補助 1,400千円 就学支援補助 2,400千円 資格取得受験費用の助成 200千円 見学旅行参加助成金 1,200千円 奨学金条例制定 奨学金基金積立 100,000千円 貸与型奨学金 16,000千円	遠距離通学生徒通学費補助 1,400千円 部活動関係振興事業補助 1,400千円 就学支援補助 2,400千円 資格取得受験費用の助成 200千円 見学旅行参加助成金 1,200千円 給付型奨学金 6,840千円 就学貸付金 7,000千円 ICT環境整備支援 440千円	遠距離通学生徒通学費補助 1,400千円 部活動関係振興事業補助 1,400千円 就学支援補助 2,640千円 資格取得受験費用の助成 300千円 見学旅行参加助成金 1,600千円 給付型奨学金 9,720千円 就学貸付金 8,000千円 ICT環境整備支援 1,200千円 雄武高校卒業生新生活応援給付金 1,000千円	201,430	122,600	20,880	27,260
事業費(千円)	4,650	4,650	26,040	26,040	26,040	26,040	27,260	
財源内訳	国庫支出金 7,500 道支支出金 0 地方債 15,000 その他 127,600	国庫支出金 7,500 道支支出金 0 地方債 100,000 その他 22,600	国庫支出金 5,000 道支支出金 6,040 地方債 7,500 その他 20,414	国庫支出金 5,000 道支支出金 8,840 地方債 7,040 その他 16,440	5,000	8,840	7,040	16,440
事業費	149,191	109,454	7,425	7,425	7,425	7,425	0	
財源内訳	国庫支出金 9,000 道支支出金 2,000 その他 130,766	国庫支出金 4,500 道支支出金 1,000 その他 109,454	国庫支出金 4,500 道支支出金 1,000 その他 7,425	国庫支出金 4,500 道支支出金 1,000 その他 10,948	4,500	1,000	1,000	10,948
特定財源の名称	(実施内容等) 部活動関係振興事業補助 1,400千円 遠距離通学生徒通学費補助 544千円 資格取得受験費用の助成 91千円 入学支援助成金 3,319千円 見学旅行参加助成金 700千円 奨学金給付金 3,600千円 奨学金基金積立 100,000千円 ※事務事業評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 部活動関係振興事業補助 1,400千円 遠距離通学生徒通学費補助 544千円 資格取得受験費用の助成 299千円 入学支援助成金 1,000千円 見学旅行参加助成金 700千円 奨学金給付金 4,500千円 奨学金基金積立 7,425千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 部活動関係振興事業補助 1,400千円 遠距離通学生徒通学費補助 544千円 資格取得受験費用の助成 299千円 入学支援助成金 2,824千円 見学旅行参加助成金 1,000千円 奨学金給付金 4,500千円 奨学金基金積立 7,425千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 部活動関係振興事業補助 1,400千円 遠距離通学生徒通学費補助 544千円 資格取得受験費用の助成 299千円 入学支援助成金 1,000千円 見学旅行参加助成金 700千円 奨学金給付金 4,500千円 奨学金基金積立 7,425千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持				
関連事項	第5期計画からの継続 (継続有り)	第5期計画からの継続 (継続有り)	第5期計画からの継続 (継続有り)	第5期計画からの継続 (継続有り)	第5期計画からの継続 (継続有り)	第5期計画からの継続 (継続有り)	第5期計画からの継続 (継続有り)	
年度目標達成率	62%	89%	78%	78%	78%	78%	78%	
全体達成率	1%	56%	66%	66%	66%	66%	66%	
備考								

事業名	雄武高等学校存続対策事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	川口 敦史
		教育振興課課長	
		総務管理係長	

■事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が(対象)	生徒・地域住民・雄武高等学校	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	雄武高等学校入学人数20人の確保
抱える課題やニーズ	北海道教育委員会が少子化を背景として策定した「新たな高校教育に関する指針」により、小規模校の存続が危惧されている。	① 指標(指標計算式/解説)	目標年度 目 標 値 20人 実 績 値 22人
どのような状態になることを目指したのか(意図)	地域及び関係機関との連携を図り、地域の学校として存続を図る。町外からの生徒数を確保することにより、入学人数減少の抑制を維持する。	② 達成年度	1100 %
その結果、どのような成果を現実化したいか ※成果=目的	雄武高等学校への進学を希望している中学卒業生の進学を妨げないため、北海道が策定する「公立高等学校配置計画」において卒業停止とならないよう、雄武高等学校の存続を図る。	目標年度 目 標 値 実 績 値 達成 度	年度

内容(どのような手段で行ったか)	入学生徒に対する助成額 卒業生奨学金等 各種支援	入学生徒の保護者に対する制服購入代金の助成を行いました。 希望する卒業生に対し、就学貸付金の賞与と奨学金の給付を行いました。 町外生徒に対するバスの定期代及び下宿費の補助、各部活動における遠征宿泊の一部補助及び備品購入等に係る補助、資格取得受給費用の助成、見学旅行に係る支援を実施しています。
------------------	--------------------------------	--

■事業の評価(Check)

(1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>

(3) 事業の効率性(コストに合わせた効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>

(4) 事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

雄武高等学校への入学者の確保は地域における雄武高校の存続対策として必要不可欠であります。各種支援事業の展開により有効性が保たれているものと判断します。

雄武高等学校への入学者の確保は地域における雄武高校の存続対策として必要不可欠であります。各種支援事業の展開により有効性が保たれているものと判断します。

町外生徒については、補助の有無を入学の際の判断材料としているものと見做されることから、コストに算入された効果は得られていないと判断します。また、在学している学生に対する助成については雄武高等学校で取りまとめを行っていることから、保護者の負担軽減に繋がっています。

生徒数の維持を図らなければ、高校存続に大きく影響することから、公平性の観点からは問題がないと判断します。

■総合評価【A~D】
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休止の検討が必要等

自己評価(一次評価) 評価会議評価(二次評価) 町長評価(三次評価)

A
各種支援策の拡充により、入学人数確保に繋がったことから、一定の成果があったと判断できるため、今後も継続して事業を実施していく必要があります。

今後の展開方向(Action)
継続/現状維持

引き継ぎ、学校等と連携しながら、PR活動等を展開し、生徒確保を図ることとします。

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又はは縮小又はは統合又はは内容の見直し、変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町 総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 03030080

【全体計画内訳】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのり記載

政策目標	5 【連帯感を高める協働のまち・雄武】～協働によるまちづくりの推進～
基本施策	22 効果的・効率的な行政経営
単位施策	1 計画行政の推進
事業名	車両運行業務民間委託事業
事業期間	平成30年度～令和4年度
事業主体	雄武町
事業指標	スクールバス等の管理運行業務
事業目標	委託車両8台の管理運行
町民参加	無
町民協働	無

事業内容	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
スクールバス等8台の運行管理業務の民間委託	177,552	33,780	33,080	36,692	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000	
事業費(千円)	177,552	33,780	33,080	36,692	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000	
財源内訳	135,480	33,484	34,302	33,816	33,816	33,816	33,816	33,816	33,816	
特定財源の名称	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託委託料 車両整備 922千円	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託委託料 車両整備 1,377千円	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託委託料 車両整備 728千円	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託委託料 車両整備 849千円	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託委託料 車両整備 849千円	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託委託料 車両整備 849千円	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託委託料 車両整備 849千円	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託委託料 車両整備 849千円	(実施内容等) スクールバス4台、給食配送車2台、生涯バス、福祉バス、及び臨時バス等の運行管理の一括民間委託委託料 車両整備 849千円	
関連事項	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託車両8台の管理運行 99%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託車両8台の管理運行 104%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託車両8台の管理運行 97%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託車両8台の管理運行 92%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託車両8台の管理運行 92%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託車両8台の管理運行 92%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託車両8台の管理運行 92%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 委託車両8台の管理運行 92%	
年度目標値	99%	104%	97%	92%	92%	92%	92%	92%	92%	
年度達成率	19%	38%	57%	76%	76%	76%	76%	76%	76%	
全体達成率										
備考										

事業名	車両運行業務民間委託事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	川口 敏史
		事務管理課長	
		総務管理係長	

■ 事業の目的・内容 (Plan・Do)		業務車両委託台数
誰、何が(対象)	町内児童、生徒、一般市民	目標年度 令和3年度
抱える課題やニーズ	円滑な運行及び輸送業務の確保	目標値 8台
どのような状態になることを目指したのか(意図)	安全で円滑な運行及び輸送業務の遂行	実績値 8台
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果＝目的	安全で円滑な運行及び輸送業務の遂行	達成度 100.0%
内容(どのような手段で何を 行ったか)	業務委託 スクーラーバス4台、給食配送車2台、福祉バス及び生涯学習バスの計8台の車両運行業務の一括民間委託	目標年度 令和3年度
		目標値
		実績値
		達成度

■ 総合評価【A～D】
 A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B: ほぼ計画とおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価者評価(二次評価)	所長評価(三次評価)
A		
業務の民間委託により、乗 車かつ円滑な運行と経費節 減が図られた。		



継続/現状維持	車両運行・輸送業務の円滑 化と効果的な成果を得るた めにも、今後も計画どおり事 業を継続する必要がある。
---------	---

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

■ 事業の評価 (Check)
 (1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	業務的のもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)
 設定した目標値の達成状況

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る

民間委託を行うことにより、柔軟かつ円滑な運行業務等を行うことができた。

(3) 事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減
課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮/作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

民間委託により人件費を抑制することができ、コストに見合った効果を得ることができた。

(4) 事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	受益負担がある
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

雄武町民全般に寄与する業務であり、公平である。

■ その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010010

3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～
 11 小学校教育の充実
 1 小中学校の教育内容の充実

政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～
基本施策	11 小学校教育の充実
単位施策	1 小中学校の教育内容の充実
事業名	言語治療児童援助事業
事業期間	平成30年度～令和4年度
事業主体	雄武町
事業指標	ことばの発達障害と診断された児童の早期治療による解消
事業目標	障害者数 0人
町民参加	無
町民協働	無

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
新入学児童におけることばの発達障害の早期治療に係る治療の確保と通級費の負担軽減 通級に係る交通費の助成 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担	通級費助成 広域市町村負担	通級費助成 広域市町村負担	通級費助成 広域市町村負担	通級費助成 広域市町村負担	通級費助成 広域市町村負担	通級費助成 広域市町村負担	通級費助成 広域市町村負担	
	260	260	260	260	260	260	260	
事業費(千円)	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	
財源	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	
事業費(千円)	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	
財源	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	
特定財源の名称	210 (実施内容等)	210 (実施内容等)	210 (実施内容等)	210 (実施内容等)	210 (実施内容等)	210 (実施内容等)	210 (実施内容等)	
関連事項	(評価・実績)	ことばの発達障害児の通級に係る交通費の助成 ・小学校児童 4人 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	ことばの発達障害児の通級に係る交通費の助成 ・小学校児童 4人 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	ことばの発達障害児の通級に係る交通費の助成 ・小学校児童 3人 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	ことばの発達障害児の通級に係る交通費の助成 ・小学校児童 6人 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	ことばの発達障害児の通級に係る交通費の助成 ・小学校児童 6人 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	ことばの発達障害児の通級に係る交通費の助成 ・小学校児童 6人 広域市町村による「ことばの教室」運営費の負担 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	第5期計画からの継続 (継続有り)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
後期計画への継続 (継続有り)	81%	72%	68%	92%	92%	92%	92%	
全体達成率	16%	31%	44%	63%	63%	63%	63%	

事業名	言語治療児童援助事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	高橋 洋祐
		教育振興課長	
		学校教育係長	

事業の目的・内容(Plan・Do)	児童・保護者等	通級を要する児童の把握及び交通費の助成人数
誰、何が(対象)	児童・保護者等	目標年度 令和3年度
捉える課題やニーズ	ことばの発達障がい等は、早期治療が有効であるため、治療を要する児童、保護者に対して広域で個別に設置している言語治療学級への通級を促進し、通級に要する経済負担の支援を行うとともに、言語治療学級を運営するための負担も行う必要がある。	目標年度 100 %
どのような状態になることを目指したのか(意図)	ことばの発達障がいをもつ児童の早期治療及び言語治療学級の運営の維持を図る。	実績年度 100 %
その結果、どのような成果を 実現したのか ※成果＝目的	正しい発音、表現力、理解力を高め、児童の健全な育成に繋がる。	目標年度 100.0 %
内容(どのような手段で何を 行ったか)	通級に要する交通費の助成 西紋別地区言語治療学級の運営費の負担	実績年度 6人 6人
		達成年度 100.0 %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 義務的なもの

必要/概ね必要 全部 一部

必要/課題あり 全部 一部

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 達成

有効/概ね有効 ほぼ達成

有効/課題あり 下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

判断の理由

事業費抑制

人員削減

時間短縮・作業軽減

その他

判断の理由	言語治療については、西紋5市町村の広域実施により、効果的な事業実施が行われていると判断します。	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
効率的	言語治療学級の設置を維持することができ、ことばの発達障がいをもつ児童の早期発見、治療を行うことができていると判断します。		
効率的/概ね効率的/課題あり			
今後の展開方向(Action)	ことばの発達障がいをもつ児童の保護者に対する経済支援を行うとともに、早期発見、治療等により、児童の学校生活の充実に向けて、計画どおり事業が進んでいます。		

判断の理由	言葉の発達障がいをもつ児童、保護者に対し、言語治療の機会が等しく確保されているので、公平性が保たれていると判断します。	継続/現状維持
公平		
公平/概ね公平/公平でない		

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更

○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町 総合計画 前期実施計画 兼 事務事業 事後評価調査

様式1

No. 12010150

会 計 区 分		1 一般会計		[全体計画内容] ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は記載	
事業優先度		B			
政策事務分類(その他)		3 単独自治事務(その他)			
見直し年度		12 教育委員会教育振興課			
担当		#N/A			
関係		#N/A			
ハート/ソフト事業区分		2 ソフト事業			
関係例規・法令名		無			
関係個別計画名		無			
町民協働		無			
政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
基本施策	11 学校教育の充実	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	教育相談員の配置 ・賞金 3,780千円 ・共済費 565千円 ・旅費 45千円 ・電話料 30千円 ・事業展開費 50千円	教育相談員の配置 ・賞金 3,780千円 ・共済費 573千円 ・旅費 45千円 ・電話料 30千円 ・事業展開費 50千円 ・車両購入 1,210千円	教育相談員の配置 ・賞金 3,780千円 ・共済費 573千円 ・旅費 45千円 ・電話料 30千円 ・事業展開費 50千円	教育相談員の配置 ・賞金 3,819千円 ・共済費 587千円 ・旅費 45千円 ・電話料 30千円 ・事業展開費 50千円
事業名	教育相談員配置事業				
事業期間	平成30年度～令和4年度				
事業主体	雄武町				
事業指標	学校教育や家庭教育に関する相談に対応するための相談員の配置				
事業目標	1名				
町民参加	無				
事業費(千円)	23,637	4,470	5,688	4,478	4,531
財源内訳					
国庫支出金	0				
道支支出金	0				
地方債	22,000	4,400	4,400	4,400	4,400
その他	0				
一般財源	1,637	70	1,288	78	131
事業費(千円)	19,041	4,462	5,739	4,447	0
財源内訳					
国庫支出金	0				
道支支出金	17,500	4,400	4,400	4,400	
地方債	44	11	11	11	
その他	1,497	82	1,328	36	
特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
過渡対策事業費(ソフト)		教育相談員 1名配置	教育相談員 1名配置	教育相談員 1名配置	教育相談員 1名配置
関連事項	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 1名 98%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 1名 101%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 1名 99%	※事務事業評価結果 1名 81%
第5期計画からの継続 (継続有り)	100%				
後期計画への継続 (継続有り)	19%				
年度目標値	100%				
年度達成率	19%				
全体達成率					
備考					

事業名	教育相談員配置事業	評価者	管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者	作成者 職氏名	川口 敦史
			教育振興課長	
			総務管理係長	

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	児童、生徒、保護者、教職員	相談員配置数	令和3年度 目標値 1人 実績値 1人
抱える課題やニーズ	いじめや不登校、非行などの課題解決と未然防止のための仕組みづくりが必要である。	相談員配置数	令和3年度 目標値 100.0 % 実績値 100.0 %
どのような状態になることを目指したのか(意図)	総合的に相談を受け、各関係者と協議し課題を解決することのできる体制の整備を図る。		
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果＝目的	家庭や学校が抱える様々な問題の解決により、児童生徒の健全な育成が図られる。		
内容(どのような手段で何を 行ったか)	相談員の配置 教育に関して専門的な知識を有し、地域及び学校現場の実情も把握している適任者を配置し、各種相談業務の対応を行いました。		

相談員配置数	令和3年度 目標値 1人 実績値 1人
相談員配置数	令和3年度 目標値 100.0 % 実績値 100.0 %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして受当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	業務的なもの	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	<input type="checkbox"/>
必要あり	<input type="checkbox"/>	一部	<input type="checkbox"/>

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	<input type="checkbox"/>
有効あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	下回る	<input type="checkbox"/>

(3)事務事業の効率性(コストに合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	教育相談員を配置し、各種相談業務に対応したことと期待する効果が得られたと判断します。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	<input type="checkbox"/>
効率的あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	教育相談を一元的に受けることで、公平性が保たれると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	<input type="checkbox"/>
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
- C:当初の評価を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		



継続/現状維持	教育相談を一元的に受けることで、円滑な教育活動の推進につながるから、継続して配置することが適当であります。
---------	---

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

事業名	語学指導を行う外国青年招致事業	評価者	管理職 職氏名 評価値 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 洋祐
事業の目的・内容(Plan・Do)	児童・生徒 英語を話す外国人に接する機会が少ないため、英語教育への関心が低く、児童生徒の国際コミュニケーション能力が不足している。 外国人青年を誘致することにより、外国語教育の充実を図る。 児童・生徒が外国語を身近に感じることによって、国際感覚に富んだ人材を育成する。	評価者	管理職 職氏名 評価値 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 洋祐

事業の目的・内容(Plan・Do)	児童・生徒 英語を話す外国人に接する機会が少ないため、英語教育への関心が低く、児童生徒の国際コミュニケーション能力が不足している。 外国人青年を誘致することにより、外国語教育の充実を図る。 児童・生徒が外国語を身近に感じることによって、国際感覚に富んだ人材を育成する。	招致人数	目標年度 令和3年度 2人 実績年度 令和3年度 2人 達成率 100.0 %
内容(どのような手段で何を 行ったか)	JETプログラムによる外国語指導助手(ALT)の招致 小中学校・高等学校等における英語授業の実施	招致人数	目標年度 令和3年度 2人 実績年度 令和3年度 2人 達成率 100.0 %

■ 事業の評価 (Check)
(1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢)に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性
児童、生徒の英語及び外国国に対する関心も高く、新学習指導要領に対応するとともに、英語に触れる環境づくりの一環としても極めて必要性が高いものであると判断します。

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部
有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る
効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)
設定した目標値の達成状況
小中高にALTを派遣することにより、児童、生徒が身近に本場の英語を肌で感じることができるとともに、英語に対する関心が深まっていると判断します。

判断の理由	地域の児童・生徒を対象に英語教育の機会均等が図られているため、公平性が保たれていると判断します。
公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他

(3) 事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げた工夫をしたか)
JETプログラムを活用し、適材な外国語指導助手を招致することができていると判断します。

(4) 事業の公平性
判断の理由
地域の児童・生徒を対象に英語教育の機会均等が図られているため、公平性が保たれていると判断します。

事業の目的・内容(Plan・Do)	児童・生徒 英語を話す外国人に接する機会が少ないため、英語教育への関心が低く、児童生徒の国際コミュニケーション能力が不足している。 外国人青年を誘致することにより、外国語教育の充実を図る。 児童・生徒が外国語を身近に感じることによって、国際感覚に富んだ人材を育成する。	招致人数	目標年度 令和3年度 2人 実績年度 令和3年度 2人 達成率 100.0 %
内容(どのような手段で何を 行ったか)	JETプログラムによる外国語指導助手(ALT)の招致 小中学校・高等学校等における英語授業の実施	招致人数	目標年度 令和3年度 2人 実績年度 令和3年度 2人 達成率 100.0 %

■ 総合評価【A~D】
A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D: 事業効果が基になっていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		

各学校担当教員と指導案の確認や授業における役割などの打ち合わせを定期的に行うことで、効果的な授業が展開されており、計画通り事業が進んでいます。

今後の展開方向 (Action)

継続/内容の見直し・変更
学校数の減少により招致人数1名での事業展開が可能と判断し、令和4年度後期からは1名体制としますが、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は補充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010030

政策目標 3 [達成感から学ぶ教育のまち・雄武]～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 11 学校教育の充実 単位施策 1 小中学校の教育内容の充実	会計区分 1 一般会計	全体計画内容 事業優先度 A 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 負担し年度 関係係 12 教育委員会教育振興課 #N/A ハート/ソフト-事業区分 2 ソフト事業 #N/A 関係例規・法令名 関係個別計画名
事業名 小中学校教師用指導書購入事業 事業期間 平成30年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業指標 各小中学校における授業内容の充実を図る 事業目標 全校 町民参加 無 町民協働 無		

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
教科書改訂時における指導書の購入と不足分の教師用指導書の購入 小学校 令和2年度改訂(令和元年度支払) 中学校 令和3年度改訂(令和2年度支払)	教師用指導書の購入	教師用指導書の購入	教師用指導書の購入(小学校改訂)	教師用指導書の購入(中学校改訂)	教師用指導書の購入	教師用指導書の購入	教師用指導書の購入	
事業費(千円) 国庫支出金 14,700 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 5,000 事業費(千円) 8,862 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 8,862	5,000	6,000	2,300	700	700	700	700	
特定財源の名称 〔評価・実績〕	(実施内容等) 小中学校における教師用指導書の購入	(実施内容等) 小中学校における教師用指導書の購入	(実施内容等) 小中学校における教師用指導書の購入	(実施内容等) 小中学校における教師用指導書の購入	(実施内容等) 小中学校における教師用指導書の購入	(実施内容等) 小中学校における教師用指導書の購入	(実施内容等) 小中学校における教師用指導書の購入	
関連事項 年度目標値 5% 年度達成率 2% 全体達成率 46% 備 考	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持 全校	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 全校	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 全校	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 全校	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 全校	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 全校	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 全校	
第5期計画からの継続(継続有り) 後期計画への継続(継続有り)	5%	108%	76%	52%	0%	0%	0%	
	2%	46%	58%	60%	60%	60%	60%	

事業名	小中学校教師用指導書購入事業	評価者	管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 洋祐
-----	----------------	-----	------------------------	----------------

■事業の目的・内容(Plan・Do)
児童・生徒、教職員

誰、何が(対象)	児童・生徒、教職員	指導書を配備する学校数	目標年度 令和3年度 5校 実績年度 令和3年度 5校 達成率 100.0%
抱える課題やニーズ	効果的・効果的な授業展開及び教職員の指導力の向上が求められる。	① 町立学校数	目標年度 令和3年度 5校 実績年度 令和3年度 5校 達成率 100.0%
どのような状態になることを目指したのか(意図)	指導書を配備することにより、指導書の作成・授業の時間配分・必要な教材等が明確になり、効果的・効果的な授業展開が図られる。	②	目標年度 令和3年度 5校 実績年度 令和3年度 5校 達成率 100.0%
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果=目的	分かりやすい授業展開により、児童・生徒の学力向上に資するとともに、教職員の指導力向上に寄与する。		
内容(どのような手段で何を 行ったか)	必要部数の把握 教科書取扱店から購入し、各小中学校に配備した。		

■事業の評価(Check)
(1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして受当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>
必要あり	<input type="checkbox"/>
有効	<input type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>
有効あり	<input type="checkbox"/>

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)

達成した目標の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 達成
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成
有効あり	<input type="checkbox"/> 下回る

(3) 事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか)

判断の理由	各学校に対し、必要部数の精査による購入と、特に、備品としての使用上の管理についても指導しているため、効率的であると判断します。
効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 人員削減
効率的あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/> その他

(4) 事業の公平性

判断の理由	児童・生徒全員に列する適切な授業の実施が行われていることから公平性が保たれていると判断します。
公平	<input type="checkbox"/> 受益負担がある
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益負担がない
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/> その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】
A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B: ほぼ計画とおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		

必要科目分を必要数購入することができ、目標を達成したため、計画通り事業が進んでいます。

今後の展開方向 (Action)

継続/現状維持
教員の更なる指導力の向上、児童・生徒に分かりやすい授業を展開するために、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と視点づくり～		No. 12010040			
基本施策 11 学校教育の充実		【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載			
単位施策	1 小中学校の教育内容の充実	1 一般会計	A		
事業名	雄武町特別支援教育推進事業	3 単独自治事務(その他)	12 教育委員会教育振興課		
事業期間	平成30年度～令和4年度	担当	#N/A		
事業主体	雄武町	関係	#N/A		
事業指標	特別支援教育支援員の配置	ハート/ソフト事業区分	有		
事業目標	5人	関係別計画名	無		
町民協働	無				
事業内容		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特別な支援を必要とする児童生徒の在る学校の把握と検証に基づく対策の実施 ・特別支援教育支援員の配置 2校(雄武小・雄武中)		令和元年度 事業内容	令和2年度 事業内容	令和3年度 事業内容	令和4年度 事業内容
		特別支援教育支援員の配置	特別支援教育支援員の配置	特別支援教育支援員の配置	特別支援教育支援員の配置
計画内容		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費(千円) 国庫支出金 103,974 道支出金 0 地方債 0 その他 141 一般財源 103,833 事業費(千円) 78,442 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 136 その他 78,306		18,460	19,290	25,069	22,695
		47	47	19,243	25,069
特定財源の名称 雇用保険納付金		18,171	19,230	24,711	0
		47	47	19,183	24,711
【評価・実績】 年度目標値 98% 年度達成率 17% 全体達成率 備考		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
		特別支援教育支援員5人の配置 (雄武小4人・雄武中1人)	特別支援教育支援員5人の配置 (雄武小4人・雄武中1人)	特別支援教育支援員5人の配置 (雄武小4人・雄武中1人)	特別支援教育支援員5人の配置 (雄武小4人・雄武中1人)
※事務事業評価結果 A-継続/現状維持		5人	5人	5人	5人
		88%	100%	99%	0%
第5期計画からの継続 (継続有り)		17%	5%	75%	75%
		備考	備考	備考	備考
後期計画への継続 (継続有り)				※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
				5人	5人

事業名	雄武町特別支援教育推進事業	評価者	管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 洋祐
■事務事業の目的・内容(Plan・Do)	児童・生徒・教職員			

誰、何が(対象)	児童・生徒・教職員	特別支援教育支援員配置数及び変更数	令和3年度 目標値 実績値 2校 2校
抱える課題やニーズ	現状の学校体制では、特別に支援を要する児童生徒への学習支援が困難な状況にある。	目標達成率	100.0 %
どのような状態になることを目指したのか(意図)	雄武町独自に特別支援教育支援員を確保し、要望のある学校に配置する。	令和3年度 目標値 実績値 5人 5人	100.0 %
その結果、どのような成果を實現したか ※成果＝目的	教育上、特別な支援を要する児童生徒の学力向上及び授業展開の円滑化を図る。	達成率	100.0 %
内容(どのような手段で何を 行ったか)	特別支援教育支援員配置 雄武小学校に4人、中学校に1人配置し、特別に支援を要する児童生徒に対する支援を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>
必要あり	<input type="checkbox"/>

学校教育法改正に伴い、教育上、特別に支援を要する児童生徒に対して、学校設置者は、学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うことが位置付けられているため、支援体制の整備が必要であると判断します。

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>
有効あり	<input type="checkbox"/>

学校の経営計画に基づく適正配置により、効果的に学習サポートが行われている状況であり、授業も円滑に進められていると判断します。

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げたか)

効率的	<input type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>
効率的あり	<input type="checkbox"/>

特別支援教育支援員の学習サポートにより、円滑な授業が展開され、ティームティーチング教員配置教科等では、当該教員が本来の役割を担うことができていると判断します。

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>
公平でない	<input type="checkbox"/>

教育上、特別な支援を要する児童生徒に対しても個に応じた学習支援を提供できていることから公平性が保たれていると判断します。

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C:当初の計画を達成できていない。事業の機会、休、廃止の検討が必要等
 D:事業効果が衰えている。事業の機会、休、廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		

特別支援教育支援員の配置により、効果的に学習サポート等が行われ、授業も円滑に進められており、計画どおり事業が進んでいます。

今後の展開方向 (Action)

継続/現状維持

特別支援学級はもとより、普通学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒が増加傾向にあることから、今後大学からの推薦等を活用し、人材確保の方策を検討しながら、引き続き事業を継続することが適当であります。

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010050

政策目標 3 (達成感から学ぶ教育のまち・雄武)～教育・文化の振興と拠点づくり～	会 計 区 分 1 一般会計	[全体計画内容] ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載
基本施策 11 字依教育の充実	事業優先度 A	
単位施策 1 小中学校の教育内容の充実	政策事務分類 3 単独自治事務(その他)	
事業名 ふるさと教員配置事業	見直し年度 担 当 係 12 教育委員会教育振興課	
事業期間 平成30年度～令和4年度	関係 係 #N/A	
事業主体 雄武町	ハート/ソフト 事業区分 2 ソフト事業	
事業指標 教員配置数	関係例規・法令名 有 雄武町ふるさと教員配置要綱	
事業目標 1名	関係個別計画名 無	
町民参加 無		
町民協働 無		

計 画 内 容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
町費採用教員の配置(ふるさと教員)	ふるさと教員の配置	ふるさと教員の配置	ふるさと教員の配置	ふるさと教員の配置	ふるさと教員の配置	ふるさと教員の配置	ふるさと教員の配置	
事業費(千円)	11,184	3,728	3,728	3,728	0	0	0	
財源	国庫支出金 0							
内訳	道支支出金 0							
内訳	地方債 0							
内訳	その他 45	15	15	15	0	0	0	
内訳	一般財源 11,139	3,713	3,713	3,713	0	0	0	
実績	事業費(千円) 0	0	0	0	0	0	0	
実績	国庫支出金 0							
実績	道支支出金 0							
実績	地方債 0							
実績	その他 0							
実績	一般財源 0							
特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	ふるさと教員 未配置	ふるさと教員 未配置	ふるさと教員 未配置	ふるさと教員 配置準備完了	ふるさと教員 配置完了	ふるさと教員 配置完了		
	【評価・実績】							
関連事項	※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更 1名 0%	※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・変更 1名 0%	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持 1名 0%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 1名 0%	※事務事業評価結果 ※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 1名 0%	年度目標値 1名 0%	年度目標値 1名 0%	年度目標値 1名 0%	年度目標値 1名 0%	年度目標値 1名 0%	年度目標値 1名 0%	
後期計画への継続 (継続有り)	全体達成率 0%	全体達成率 0%	全体達成率 0%	全体達成率 0%	全体達成率 0%	全体達成率 0%	全体達成率 0%	
	備 考							

事業名	ふるさと教員配置事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	高橋 洋祐

■ 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が(対象)	児童・生徒・教職員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	ふるさと教員配置人数
抱える課題やニーズ	児童生徒数の減少による、学校内教職員定数の減に伴い、少人数学級の指導に支障を来している状況にある。	①	目標年度 実績年度 達成度 令和3年度 1人 1人 100.0 %
どのような状態になることを目指したのか(意図)	学校のそれぞれの特徴に応じた多種多様な教育活動の円滑化を推進し、教職員数不足により児童に影響を与えることのない学校体制の充実を図る。	②	目標年度 実績年度 達成度 令和3年度 1人 1人 100.0 %
その結果、どのような成果を表現したいか ※成果=目的	各学校の事情や教職員体制等の把握及び適切な配置を調査し、教職員の研修や行事の際の教職員配置不足に対応できる、適切な学校運営を行う。		
内容(どのような手段で何をを行ったか)	学校配置 小規模校における学校体制の充実を図るため、1人配置した。(地域おこし協力隊の活用)		

■ 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	年度内に配置が完了し、教育活動が円滑に進められていると判断します。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げた工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	年度内に配置が完了し、少人数学級の授業補助の他にも、地域行事等への参加等、地域に対する貢献も含め、教育活動を円滑に推進する事業であると判断します。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各学校全ての現状把握を行い、事業内容も学校に偏りがない教育活動を行える体制づくりの整備に向け努めているため、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■ その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価【A~D】
A: 計画通り事業が運んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	A	評価会議評価(二次評価)		町長評価(三次評価)	
今後の展開方向 (Action)	地域おこし協力隊を活用し、ふるさと教員を1名配置したことで、へき地複式校等における少人数学級の指導体制の充実を図ることができた。				

継続/現状維持

次年度以降は、配置人数を維持するよう努めることとし、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は補充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010060

政策目標	3 (達成感から学ぶ教育のまち・雄武)～教育・文化の振興と拠点づくり～	会計区分	1 一般会計	[全体計画内容] ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載
基本施策	11 学校教育の充実	事業優先度	A	
単位施策	1 小中学校の教育内容の充実	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	要保護・準要保護児童生徒援助事業	見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和4年度	担当	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係	5 保健福祉課	
事業指標	児童生徒の義務教育保障	ハート/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	経済的理由による就学困難児童生徒数 0人	関係例規・法令名	有 雄武町就学援助実施要綱	
町民参加	無	関係個別計画名	無	

計画内容	事業内容			
	令和5年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
低所得世帯における児童生徒の就学援助	学用品費・体育実技用具費 校外活動費・修学旅行費 新入学児童生徒学用品費 入学準備金・給食費・医療費 クラブ活動費・生徒会費 PTA会費の援助	学用品費・体育実技用具費 校外活動費・修学旅行費 新入学児童生徒学用品費 入学準備金・給食費・医療費 クラブ活動費・生徒会費 PTA会費の援助	学用品費・体育実技用具費 校外活動費・修学旅行費 新入学児童生徒学用品費 入学準備金・給食費・医療費 クラブ活動費・生徒会費 PTA会費の援助	学用品費・体育実技用具費 校外活動費・修学旅行費 新入学児童生徒学用品費 入学準備金・給食費・医療費 クラブ活動費・生徒会費 PTA会費の援助
事業費(千円)	18,665	3,733	3,733	3,733
財源内訳	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0			
事業費(千円)	18,665	3,733	3,733	3,733
財源内訳	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0			
特定財源の名称	12,777	3,093	2,971	3,483
実績	【評価・実績】 低所得者層世帯に対する就学援助費の支給 ・小学校児童26人 ・中学校生徒16人	低所得者層世帯に対する就学援助費の支給 ・小学校児童19人 ・中学校生徒15人	低所得者層世帯に対する就学援助費の支給 ・小学校児童23人 ・中学校生徒14人	低所得者層世帯に対する就学援助費の支給 ・小学校児童19人 ・中学校生徒13人
第5期計画からの継続 (継続有り)	0人	0人	0人	0人
後期計画への継続 (継続有り)	87%	83%	80%	93%
年度目標値	17%	34%	50%	68%
年度達成率				
全体達成率				
備考				※事務事業評価結果 A-継続/現状維持

事業名	要保護・準要保護児童生徒援助事業	評価者	管理職 職氏名 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 洋祐
■ 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)	児童・生徒、保護者	教育振興課長 学校教育係長		

誰、何が(対象)	児童・生徒、保護者	経済的理由による就学困難児童生徒の解消
抱える課題やニーズ	経済的理由により、就学(義務教育を受けること)に支障をきたしている世帯がある。	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	学校教育法に基づいて必要な支援を行い、就学(義務教育を受けること)機会の均等化を図られる。	
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果＝目的	一定水準の義務教育が保障されるとともに、児童生徒の健全な育成に繋がる。	
内容(どのような手段で何を 行ったか)	学校を通じて保護者に対して制度の周知を行い、学校から提出を受けた申請に基づき、教育委員会議において認定の可否を決定した。 支援が必要な世帯の保護者に対して、町就学援助実施要綱に基づく就学援助費を支給した。	

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)

①	指標(指標計算式/解説)	就学困難児童生徒数	令和3年度 0人
②			令和3年度 100.0%

目標年度	実績年度	目標値	実績値
		0人	0人
		100.0%	

■ 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や風通しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■ その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、休・廃止の統合、休・廃止の検討が必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		



継続/現状維持	法に基づく支援であり、義務教育の機会を均等に受けることは必要であり、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。
---------	--

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は補充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

事業名	児童生徒授業用コンピュータ等整備(更新)事業	評価者	菅理 職氏名	中村 文隆
		評価者	作成者 職氏名	高橋 洋祐
			教育振興課長	
			学校教育係長	

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	児童、生徒	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説)	学習支援ソフト導入学校数
抱える課題やニーズ	近未来において到来するICT社会に対応できるよう、子供たち一人ひとりに対し、個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現	①	目標年度 令和3年度 目標値 5校 実績値 5校
どのような状態になることを目指したのか(意図)	GIGAスクール構想において目標としているICT学習環境水準の整備	②	達成年度 令和3年度 目標値 100.0 % 実績値 達成率
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	町内小中学校の児童生徒が平等な授業を受けることが保障されるとともに、全校においてICT教育環境の目標水準の維持が図られる。		
内容(どのような手段で何をを行ったか)	学習支援ソフトの導入		

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成
あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効索性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫したか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
あり	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益負担がある
あり	<input type="checkbox"/>	受益負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--	--

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合・休止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価段階評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
学習支援ソフトを全校に導入し、GIGAスクール構想において目標としているICT学習環境水準の整備に努めた。		



継続/拡充	国がデジタル教科書を活用する展望を示したことにより、現在の環境では通信容量や速度などで環境未整備に陥る可能性があるため、環境水準の向上を目標に随時状況に合わせて計画を見直すこととします。
-------	---

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し/変更
- 終了
- 休止
- 廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010080

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と視点づくり～ 基本施策 11 学校教育の充実 単位施策 2 小中学校の教育環境の充実 事業名 山村留学推進事業 事業期間 平成30年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業指標 山村留学実施校の存続 事業目標 1校 町民参加 無 町民協働 無	会計区分 1 一般会計 事業優先度 A 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 見直し年度 課 担当 12 教育委員会教育振興課 関係 #N/A ハート/ソフト事業区分 2 ソフト事業 関係例規・法令名 #N/A 関係個別計画名 無	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は下記記載
---	---	-------------------------------------

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
雄武町山村留学推進協議会への運営補助 ・山村留学実施校 共未小	協議会への運営補助	協議会への運営補助	協議会への運営補助	協議会への運営補助	協議会への運営補助	協議会への運営補助	協議会への運営補助	
事業費(千円)	2,500	500	500	500	500	500	500	
財源	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0							
事業費(千円)	2,500	500	500	500	500	500	500	
実績	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0							
特定財源の名称	(実施内容等) 雄武町山村留学推進協議会 に対する運営補助	(実施内容等) 雄武町山村留学推進協議会 に対する運営補助	(実施内容等) 雄武町山村留学推進協議会 に対する運営補助	(実施内容等) 雄武町山村留学推進協議会 に対する運営補助	(実施内容等) 雄武町山村留学推進協議会 に対する運営補助	(実施内容等) 雄武町山村留学推進協議会 に対する運営補助	(実施内容等) 雄武町山村留学推進協議会 に対する運営補助	
関連事項	【評価・実績】 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 1校	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 1校	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 1校	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 1校	※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・変更 1校	※事務事業評価結果 ※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・変更 1校	※事務事業評価結果 ※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・変更 1校	
第5期計画からの継続 (継続有り)	100%	100%	100%	100%	0%	0%	0%	
後期計画への継続 (継続有り)	20%	40%	60%	60%	60%	60%	60%	
年度目標値 年度達成率	100%	100%	100%	100%	0%	0%	0%	
全体達成率 備考	20%	40%	60%	60%	60%	60%	60%	

事業名	山村留学推進事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	高橋 洋祐

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

能、何が(対象)	児童・地域住民	山村留学の実施校数	令和3年度 1校
抱える課題やニーズ	児童数の減少から、関係学校の存続と地域衰退が懸念されている。	目標年度 実績値	1校
どのような状態になることを目指したのか(意図)	地域協議会の活動を通じ、山村留學生を誘致し、へき地域の存続と教職員数の確保を図る。	達成度	100.0 %
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果＝目的	山村留学実施校の教育内容や教育環境の充実と地域活性化を促進するとともに山村留學生による児童数の増員を推進する。	目標年度 実績値	令和3年度
内容(どのような手段で何を 行ったか)	雄武町山村留学推進連絡協議会の運営 産業関係団体と地域連絡協議会からなる協議会を運営し、制度実施上の課題等とともに、山村留學生の受け入れ段階における各種協力体制の確立を図った。	達成度	

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして受当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	令和3年度については、協議会への支出はなかったが、地域協議会による事業活動のために必要な支援を行っており、本事業に関する問い合わせなどの反応があることから、コストに見合ったPR効果が得られている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業抑制制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	PRなどの際に情報開示制限を行っておらず、万人が知る事ができるため公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--	--

■総合評価【A～D】
A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B: ほぼ計画とおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C		



継続/内容の見直し・変更
定住留學生の維持は図られているものの、地域の今後を要望等を反映した上で事業自体の見直し等が必要であります。

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010100

政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～	
基本施策	11 学校教育の充実	
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	
事業名	小中学校教育備品整備事業	
事業期間	平成30年度～令和4年度	
事業主体	雄武町	
事業指標	学校施設の計画的な備品整備	
事業目標	全校	
町民参加	無	
町民協働	無	
会計区分	1 一般会計	B
事業優先度	3 単独自治事務(その他)	
政策事務分類	#N/A	
見直し年度	#N/A	
担当課	#N/A	
関係課	#N/A	
ハート/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
関係例規・法令名	無	
関係例別計画名	無	

【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載

計画内容	令和元年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
各小中学校における教育環境の維持・確保 ・複写機、印刷機、その他備品の更新及び購入	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,100千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 3,950千円 ・学校教材備品 2,150千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,300千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 2,300千円 ・学校教材備品 2,450千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,300千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 1,700千円 ・学校教材備品 2,220千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,300千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 3,100千円 ・学校教材備品 3,700千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,100千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 3,950千円 ・学校教材備品 2,150千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,300千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 2,300千円 ・学校教材備品 2,450千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,300千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 1,700千円 ・学校教材備品 2,220千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,300千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 3,100千円 ・学校教材備品 3,700千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,100千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 3,950千円 ・学校教材備品 2,150千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,300千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 2,300千円 ・学校教材備品 2,450千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,300千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 1,700千円 ・学校教材備品 2,220千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,300千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 3,100千円 ・学校教材備品 3,700千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,100千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 3,950千円 ・学校教材備品 2,150千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,300千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 2,300千円 ・学校教材備品 2,450千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,300千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 1,700千円 ・学校教材備品 2,220千円	各小中学校管理教材備品 ・複写機 1,300千円 ・印刷機 1,300千円 ・学校管理備品 3,100千円 ・学校教材備品 3,700千円
事業費(千円)	35,870	35,870	35,870	35,870	8,500	8,500	8,500	8,500	7,350	7,350	7,350	7,350	8,220	8,220	8,220	8,220
財源内訳	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0	国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0
実績事業費	35,870	35,870	35,870	35,870	8,500	8,500	8,500	8,500	7,350	7,350	7,350	7,350	8,220	8,220	8,220	8,220
特定財源の名称	29,136	29,136	29,136	29,136	7,847	7,847	7,847	7,847	7,082	7,082	7,082	7,082	8,630	8,630	8,630	8,630
関連事項	【評価・実績】 各小中学校教材備品の購入 ・複写機 ・印刷機 ・学校管理備品 ・学校教材備品 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 全校															
第5期計画からの継続(継続有り)	92%															
後期計画への継続(継続有り)	22%															
年度目標値	96%															
年度達成率	42%															
全体達成率	96%															
備考	A-継続/現状維持 全校															
※事務事業評価結果	A-継続/現状維持 全校															
全校	82%															
全校	81%															

事業名	小中学校教育備品整備事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	高橋 洋祐

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)		児童・生徒、教職員	備品配備学校数
誰、何が(対象)			目標年度 令和3年度
抱える課題やニーズ	教育情勢の変化に伴い必要となる教材備品及び管理備品の計画的な整備		目標年度 5校
どのような状態になることを目指したのか(意図)	備品の計画的な整備により、日々の授業及び校務の円滑化を推進する。		実績年度 5校
その結果、どのような成果を表現したのか	小中学校における教育環境の構築と児童生徒に対する教育内容の充実を図る。		達成度 100.0 %
*成果=目的			目標年度 令和3年度
内容(どのような手段で何をを行ったか)	各学校における要望調査の実施 必要備品の配備	各学校における必要備品の要望調査を行い、緊急性及び必要性を確認した上で、翌年度の配備決定を行った。 各学校への備品を配備した。	実績年度 達成度

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や風置しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

設定した目標値の達成状況

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

判断の理由

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減	
課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

判断の理由

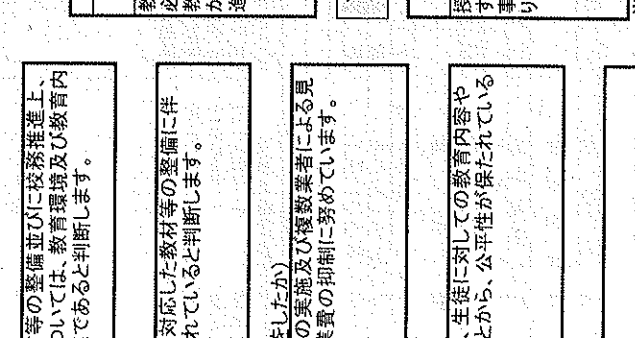
公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		



※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町 総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12010110

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 11 学校教育の充実 単位施策 2 小中学校の教育環境の充実 事業名 生徒教育振興事業 事業期間 平成30年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業指標 部活動を通じて生徒の健康増進を図るとともに、仲間意識を高め、より良い学校づくりを行う 事業目標 1校 町民参加 無 町民協働 無	会 計 区 分 1 一般会計 事業優先度 B 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 見直し年度 課 担当 課 関係 課 ハート/ソフト事業区分 #N/A 関係例規・法令名 #N/A 関係個別計画名 無 無	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみに記載
---	---	--------------------------------------

計 画 内 容	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	参加経費の負担	事業内容	参加経費の負担	事業内容	参加経費の負担	事業内容	参加経費の負担	事業内容	参加経費の負担
中体連等参加経費の負担		参加経費の負担		参加経費の負担		参加経費の負担		参加経費の負担		参加経費の負担
事業費(千円)	12,000	2,400		2,400		2,400		2,400		2,400
財源内訳										
国庫支出金	0									
道支支出金	0									
地方債	0									
その他	0									
一般財源	12,000	2,400		2,400		2,400		2,400		2,400
事業費(千円)	6,448	2,321		1,702		608		1,817		0
財源内訳										
国庫支出金	0									
道支支出金	0									
地方債	0									
その他	0									
一般財源	6,448	2,321		1,702		608		1,817		0
特定財源の名称										
		(実施内容等)		(実施内容等)		(実施内容等)		(実施内容等)		(実施内容等)
		中体連等参加経費の負担		中体連等参加経費の負担		中体連等参加経費の負担		中体連等参加経費の負担		中体連等参加経費の負担
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
		1校		1校		1校		1校		1校
		97%		71%		25%		76%		0%
		19%		34%		39%		54%		54%
		年度目標値		年度達成率		年度達成率		年度達成率		年度達成率
		後期計画への継続 (継続有り)		後期計画への継続 (継続有り)		後期計画への継続 (継続有り)		後期計画への継続 (継続有り)		後期計画への継続 (継続有り)
		備考		備考		備考		備考		備考

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)		部活動を通じて豊かな人間形成を構築する学校数	
誰、何が(対象)	生徒、保護者	目標年度	令和3年度
抱える課題やニーズ	部活動加入率及び大会参加経費が増加傾向にあり、大会への参加奨励のための支援を要する。	目標年度	令和3年度
どのような状態になることを目指したのか(意図)	本事業によって保護者負担の軽減を図る。部活動を通じて仲間意識を養うとともに生徒の健康保持、増進を図る。	実績年度	1校
その結果、どのような成果を実現したか ※成果＝目的	仲間意識が養われ、生徒が充実した学校生活を送ることによって、より良い学校作りにつながり、さらには学習意欲の向上にもつながる。	達成年度	1000 %
内容(どのような手段で何をを行ったか)	大会参加に係る負担金の助成	目標年度	令和3年度
		実績年度	
		達成年度	

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢)に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障(既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

設定した目標値の達成状況

仲間意識が強まり、生徒が充実した学校生活を送ることにより、豊かな人間形成が確立されていると判断します。

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

大会への参加費補助要項(内規)に基づき、中体連及び中体連に準ずる大会への参加経費を支出しており、適正な審査を行うとともに、可能な限りの効率的執行に努めています。

判断の理由	対象生徒の経費負担を等しく行っており、公平性が保たれていると判断します。
公平	<input checked="" type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平/課題あり	<input type="checkbox"/>
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B: ほぼ計画とおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価) 評価会議評価(二次評価) 町長評価(三次評価)

A

義務教育課程における活動であり、保護者の負担軽減を図るとともに、部活動を通じて健康保持、増進を図られ、豊かな人間形成が確立されており、計画どおり事業が進んでいます。

今後の展開方向(Action)

継続/現状維持

保護者の負担が軽減され、生徒間の仲間意識が向上、充実した学校生活を送ることにより、豊かな人間形成が確立されており、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○廃止

事業名	学校図書整備事業	評価者	管理課 藤氏名	中村 文隆
		評価者	作成者 藤氏名	高橋 洋祐
			教育振興課長	
			学校教育係長	

事業の目的・内容(Plan・Do)	児童・生徒・教職員	計画的な図書配備を行う学校数
抱える課題やニーズ	児童・生徒の発達段階に見合った継続性のある図書整備が必要である。	目標年度 令和3年度 5校
どのような状態になることを目指したのか(意図)	学校図書館の図書の充実及び児童・生徒の読書意欲等の促進を図る。	実績年度 令和3年度 5校
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果＝目的	児童・生徒の発達段階に見合う図書整備を実施することで、健全な教養を育成するとともに、自ら学ぶ意欲の向上を図られる。	達成率 100.0 %
内容(どのような手段で何を 行ったか)	図書備品購入費の配当 学校の購入申請について、内容審査のうえ承認し、学校が購入した。	目標年度 令和3年度 5校
		実績年度 令和3年度 5校
		達成率 100.0 %

■事業の評価(Check)
 (1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や重複による対応可能性)
 学校図書整備は、教育課程において必須とされるものであり、教育内容の充実、教育環境を整備する上において、学校図書の購入、更新は必要であると判断します。

必要	<input type="checkbox"/> 義務的
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/> 全部
課題あり	<input type="checkbox"/> 一部

有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る

効果的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制
効果的/概ね効果的	<input type="checkbox"/> 人員削減
課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/> その他

公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/> その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】
 A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	町長評価(三次評価)
A	

今後の展開方向 (Action)	継続/現状維持
	教育課程において必要とされる図書及び時代に即した図書を計画的に配備することにより、児童・生徒の健全な教養が育成されており、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し、変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

事業名	雄武町学校教育振興推進協議会補助事業	評価者	管理職 職氏名 校長 高橋 洋祐	中村 文隆
事業の目的・内容(Plan・Do)	児童・生徒・教職員	評価者	作成者 職氏名 校長 高橋 洋祐	

誰、何が(対象)	児童・生徒・教職員	協議会の安定した運営
抱える課題やニーズ	児童生徒数の減少による、教職員の定数配置の減少に伴い、学校経営・運営に支障を来している。	目標年度 令和3年度
どのような状態になることを目指したのか(意図)	町内の全教育機関が連携し、専門部会ごとの課題検討や協議によって教職員の資質向上と時代の変化に対応した均質な学校経営、運営を進める。	目標年度 令和3年度
その結果、どのような成果を 実現したか ※成果＝目的	雄武町教育目標の達成に向けて町内の全教員が同じ認識のもとに学校経営・運営を行うとともに、教職員の資質向上によって児童生徒が時代の変化に対応した、より良い教育を受けることができる。	実績年度 令和3年度
内容(どのような手段で何を 行ったか)	協議会への運営補助 協議会の安定した運営に向け、運営費を助成した。	達成年度 令和3年度

■事務事業の評価(Check)
(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢)に照らして受当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性

必要	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)
設定した目標の達成状況

有効	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)
活動に見合う効果的かつ効果的な運営を促しており、補助金についても、運営状況の精査を行うなど効率化に努めています。

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>

(4)事務事業の公平性
判断の理由

公平	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平/課題あり	<input type="checkbox"/>

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画とおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が乏しい。事業の統合、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	A	評価会議評価(二次評価)		町長評価(三次評価)	
時代の变化に対応した均質のある学校経営、運営が行われており、計画どおり事業が進んでいます。	今後の展開方向 (Action)	継続/現状維持	変化する教育情勢に対応し、適切な学校経営及び運営並びに協議会組織を活用した事業を展開することにより教職員の資質向上が推進されており、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。	※展開方向の区分 ○継続 ○現状維持 ○拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止	

事業名	教職員教育振興事業	評価者	管理職 職氏名 評価値 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 洋祐
-----	-----------	-----	------------------------	----------------

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	教職員	各学校における教育内容の充実
抱える課題やニーズ	へき地の不利な条件等から、教員の資質向上を図るための研修機会が少ない状況となっている。	① 指標(指標計算式/務説) 本事業の活用学校数 目標年度 令和3年度 5校 実績年度 5校 達成率 100.0 %
どのような状態になることを目指したのか(意図)	教職員が本事業を活用し、積極的に視察や研修を行う。	② 目標年度 令和3年度 実績年度 達成率
その結果、どのような成果を實現したか ※成果=目的	変化する教育情勢に対応した知識の習得など、教職員としての資質の向上を図ることによって、円滑な学校運営が推進され、さらには教育内容の充実にもつながる。	
内容(どのような手段で何を行ったか)	校内研修計画書等の徴取 各学校において実施する校内研修、公開研究会に係る計画内容を確認した。	

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢)に照らして受当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障(既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効達性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	必要研修等の精査を行い、事業費の抑制を図っています。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	研修により、その成果が児童、生徒に還元され、町の教育水準が向上すること、また、教職員個々の資質向上が推進される事業であり、一部負担しているため、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B: ほぼ計画とおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D: 事業効果が見えていない。事業の統合、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		



継続/現状維持	へき地に勤務する不利性を解消し、本事業によって研修に参加することにより、教職員としての資質が向上し、円滑な学校運営、教育内容の充実にもつながるため、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。
---------	--

※ 展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容はの見直し、変更
○終了 ○休止 ○廃止

事業名	小中学校児童生徒検定チャレンジ促進事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	高橋 洋祐
		教育振興課長	
		学校教育係長	

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	児童、生徒	チャレンジ児童生徒数
抱える課題やニーズ	児童の漢字検定並びに生徒の漢字検定及び英語検定における受験費用の保護者の経済的負担の軽減。	目標年度 令和3年度 40人
どのような状態になることを目指したのか(意図)	漢字検定及び英語検定受験費用を全額助成することにより保護者負担の軽減を図る。	実績年度 令和3年度 62人
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果＝目的	受験費用の全額助成により、受験者が増加し、児童生徒の漢字力及び英語力の向上が図られる。	達成率 155.0%
内容(どのような手段で何を 行ったか)	助成金の支給 受験者の取りまとめは、町内各小中学校が窓口となり、教育委員会に報告。教育委員会は各学校からの申請に基づき助成金を交付した。	目標年度 令和3年度 80人
		実績年度 令和3年度 72人
		達成率 90.0%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げた工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	学習意欲、チャレンジ精神の向上を推進するために進んでいる
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業であり、現時点においては、コストに見合った効果が得られていると判断します。
課題あり	<input type="checkbox"/>	専業抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮/作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	児童、生徒の誰もが、チャレンジする場合に助成が受けられるものであり、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		



継続/現状維持	利用増に向けて、制度の活用について再度学校へ周知するとともに、学校の協議しながら今後も計画通りに事業を進めることが適当であります。
---------	---

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査書

No. 12010222

政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～	会 計 区 分	1 一般会計
基本施策	11 学校教育の充実	事業優先度	A
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)
事業名	小中学校感染症対策事業	見直し年度	
事業期間	令和2年度～令和3年度	担当	12 教育委員会教育振興課
事業主体	雄武町	関係	#N/A
事業指図	感染症対策備品等の整備校数	ハート/771.事業区分	#N/A
事業目標	5校	関係例規・法令名	1 ハート事業
町民参加	無	関係個別計画名	
町民協働	無		

【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載

計 画 内 容	令和 3 年度		令和 4 年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品等の整備 (雄武小学校、沢木小学校、豊丘小学校、共栄小学校、雄武中学校 計5校)	令和 3 年度 事業内容 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※令和2年度繰越	令和 4 年度 事業内容 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※令和2年度繰越	令和 3 年度 事業内容 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※令和2年度繰越	令和 4 年度 事業内容 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※令和2年度繰越
事業費(千円) 10,000 10,000 0 0 0 0 0 8,233 8,233 0 0 0 0	令和 3 年度 事業内容 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※令和2年度繰越	令和 4 年度 事業内容 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※令和2年度繰越	令和 3 年度 事業内容 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※令和2年度繰越	令和 4 年度 事業内容 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※令和2年度繰越
事業費(千円) 10,000 10,000 0 0 0 0 0 8,233 8,233 0 0 0 0	令和 3 年度 事業内容 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※令和2年度繰越	令和 4 年度 事業内容 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※令和2年度繰越	令和 3 年度 事業内容 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※令和2年度繰越	令和 4 年度 事業内容 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※令和2年度繰越
特定財源の名称 ・学校保健特別対策 事業費補助金 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	(実施内容等) 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※事務事業評価結果 A一継続/現状維持 5校	(実施内容等) 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※事務事業評価結果 A一継続/現状維持 5校	(実施内容等) 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※事務事業評価結果 A一継続/現状維持 5校	(実施内容等) 新型コロナウイルス感染症対策等備品及び消耗品の整備 ※事務事業評価結果 A一継続/現状維持 5校
第5期計画からの継続 後期計画への継続	年度目標値 年度達成率 全体達成率 備 考	年度目標値 年度達成率 全体達成率 備 考	年度目標値 年度達成率 全体達成率 備 考	年度目標値 年度達成率 全体達成率 備 考
	0%	0%	77%	82%
	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			82%	82%

事業名	小中学校感染症対策事業	評価者	管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 洋祐
-----	-------------	-----	------------------------	----------------

■事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	児童・生徒・教職員・学校環境	感染症対策の実施
抱える課題やニーズ	新型コロナウイルス感染症対策の充実	目標年度 目標値 令和3年度 5校
どのような状態になることを目指したのか(意図)	徹底した新型コロナウイルス感染症対策を実施することにより、クラスターの発生防止、感染リスク低減を目指す	達成度 100.0 %
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果＝目的	クラスターが発生した場合であっても、十分な環境整備を実施することにより、学校設置者としての責務や説明責任を全うすることが可能であり、クラスター終息後においても適切な環境構築を目指す	目標年度 目標値 令和3年度 5校
内容(どのような手段で何を行ったか)	<p>対策関係消耗品の購入 各学校にて感染症対策に必要な消耗品の速やかな購入事務により、環境整備を図った。</p> <p>対策関係備品の購入 各学校にて感染症対策に必要な備品の速やかな購入事務により、環境整備を図った。</p>	目標年度 目標値 令和3年度 5校

■事業の評価(Check)

(1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】
 A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
学校の要望どおり整備を実施しているため、計画通り事業が進んでいます。		



継続/現状維持		
今後も、感染防止対策を継続し、計画通り事業を進めることが適当であります。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了
- 休止
- 廃止

第6期 雄武町 総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

No. 12010231

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 11 学校教育の充実 単位施策 3 開かれた学校づくりの推進	会 計 区 分 1 一般会計 事業優 先 度 A 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 見直し 年 度 担 当 課 12 教育委員会教育振興課 関 係 課 #N/A #N/A ハート/ソフト事業区分 2 ソフト事業 関係例規・法令名 有 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(第47条の5) 関係個別計画名 無	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載
--	---	-------------------------------------

計 画 内 容	令和3年度 事業内容	令和4年度 事業内容	令和5年度 事業内容	令和6年度 事業内容
● 学校運営協議会の設置 ● 学校運営協議会の開催	・協議会の開催(5回) ・管内協議会参加(1回)	・協議会の開催(5回) ・管内協議会参加(1回)	・協議会の開催(5回) ・管内協議会参加(1回)	・協議会の開催(5回) ・管内協議会参加(1回)
事業費(千円) 国庫支出金 1,200 道支支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 1,200 事業費(千円) 196 国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 196	400 400 400 118 0 0 0 0 196	400 400 400 118 0 0 0 0 196	400 400 400 118 0 0 0 0 196	400 400 400 118 0 0 0 0 196
特定財源の名称 【評価・実績】	(実施内容等) ・協議会の設置 ・協議会の開催(2回)	(実施内容等) ・協議会の開催(2回) ・管内協議会参加(0回)	(実施内容等) ・協議会の開催(2回) ・管内協議会参加(0回)	(実施内容等)
関連事項 ※事務事業評価結果 A-継続/内容の見直し・変更 協議会の開催	※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更 協議会の開催	※事務事業評価結果 A-継続/内容の見直し・変更 協議会の開催	※事務事業評価結果 A-継続/内容の見直し・変更 協議会の開催	※事務事業評価結果 協議会の開催
第5期計画からの継続 後期計画への継続 (継続有り)	#DIV/0! 0%	#DIV/0! 0%	#DIV/0! 0%	#DIV/0! 0%
年度目標値 年度達成率 全体達成率 備考	30% 10%	30% 10%	30% 10%	0% 16%

事業名	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)推進事業	評価者	管理職 職氏名 評価値 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 洋祐
-----	--------------------------	-----	------------------------	----------------

■事務事業の目的・内容(Plan-Do)		協議会の開催	
誰、何が(対象)	町内小中学校	目標年度	令和3年度
抱える課題やニーズ	地域とともにある魅力ある学校づくり	目標値	5回
どのような状態になることを目指したのか(意図)	学校運営協議会の運用・運営の安定を図る	実績値	2回
その結果、どのような成果を 実現したのか ※成果＝目的	保護者や地域住民等が積極的に学校運営に参画することにより、地域と学校の連携が強化され、協働による学校づくり体制を構築する。	達成度	40.0%
内容(どのような手段で何を 行ったか)	協議会の設置	目標年度	令和3年度
	協議会の開催	目標値	回
	雄武町コミュニティ・スクール協議会規則を制定し、これに基づき委員を選任した。町内の全小中学校で一つの協議会を設置し、協議会内に各学校毎に協議できるよう各学校部会、学校を支援するための支援部会を設置した。	実績値	回
	全体会は開催できなかったが、部会を2回開催し、議論することができた。	達成度	度

■事務事業の評価(Check)
 (1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	<input type="checkbox"/>
必要あり	<input type="checkbox"/>	一部	<input type="checkbox"/>

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)
 設定した目標値の達成状況

概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	<input type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	<input type="checkbox"/>
有効あり	<input type="checkbox"/>	下回る	<input type="checkbox"/>

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げたか)
 判断の理由

課題あり	<input type="checkbox"/>	事業抑制	<input type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減	<input type="checkbox"/>
理由あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

(4)事務事業の公平性
 判断の理由

公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	<input type="checkbox"/>
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

■総合評価(A~D)
 A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模・内容・実施主体等の見直しが必要等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合・休止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		

今後の展開方向
(Action)

継続/内容の見直し・変更	
協議会の活性化に課題があるため、事務局を担う学校への支援方法の検討など事業内容の見直しが必要であります。	

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12020010

No. 12020010		【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載	
項目	3	1	一般会計
政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～		
基本施策	12 生涯学習・生涯スポーツの推進		
単位施策	1 生涯学習活動の推進		
事業名	生涯学習推進事業		B
事業期間	平成30年度～令和4年度		3 単独自治事務(その他)
事業主体	雄武町		見直し年度
事業指標	学習会、講座の開設		12 教育委員会教育振興課
事業目標	「生きがい」大学、町民大学、成人講座の開催		#N/A
町民参加	無		#N/A
町民協働	無		2 ソフト事業
			関係例規・法令名
			関係個別計画名
			無
			無
【評価・実績】			
計画内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座 高年齢者教室交流の集い(4年に1度)	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座	高年齢者教室「生きがい大学」 町民大学 成人講座 高年齢者教室交流の集い
事業費(千円)	540	540	650
国庫支出金	0	0	0
道支金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	540	540	650
事業費(千円)	749	749	850
国庫支出金	0	0	0
道支金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	749	749	850
特定財源の名称	(実施内容等) 生きがい大学の開催8回 町民大学3回 成人講座2回	(実施内容等) 生きがい大学の開催6回 町民大学3回 成人講座2回	(実施内容等) 生きがい大学 未実施 町民大学 未実施 成人講座 未実施
関係事項	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持 生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持 生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回	※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更 生きがい大学10回、町民大学4回、成人講座2回
第5期計画からの継続(継続有り)	98%	41%	0%
後期計画への継続(継続有り)	19%	26%	26%
年度目標値	41%	26%	26%
年度達成率	98%	41%	0%
全体達成率	19%	26%	26%
備考			

事業名	生涯学習推進事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	高橋 秀

■ 事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民	各学級、講座の開設数	
抱える課題やニーズ	町民の学習機会の創出	目標年度	令和3年度
どのような状態になることを目指したのか(意図)	学習機会の提供による町民の生涯学習の充実	目標年度	16回
その結果、どのような成果を 実現したのか ※成果＝目的	生涯学習を通じて、町民自らが主体的に学習し、その成果を地域活動に生かすとともに、 地域の活性化が図られる	実績年度	1回
内容(どのような手段で何を 行ったか)	生さがい大学 町民大学 成人講座	達成年度	6.3%
	「新型コロナウイルス感染症」感染予防対策として、中止とした	目標年度	令和3年度
	「新型コロナウイルス感染症」感染予防対策として、中止とした	実績年度	
	書道講座のみ開設となり、その他の予定講座は「新型コロナウイルス感染症」感染予防対策として中止した	達成年度	

■ 事業の評価 (Check)

(1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして受当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	町民の生涯学習活動参加へのきっかけ作りの推進は、教育行政が担う必要がある。

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大に伴い、受講者の安全確保のため、未実施としたため、目標値の達成は出来なかった。
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げた工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大に伴い、受講者の安全確保のため、未実施としたため、効率性の検証は出来ない。

(4) 事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
不公平/不公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大に伴い、受講者の安全確保のため、未実施となった事で、受益者負担は発生しなかった。

■ その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価(A~D)
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画通り事業が進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		



継続/内容の見直し・変更	
「新型コロナウイルス感染症」の感染状況によっては、オンライン設備等を活用し、ウィズコロナを意識した事業の展開により、町民の生涯学習の推進を図る。	

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12620020

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 12 生涯学習・生涯スポーツの推進 単位施策 1 生涯学習活動の推進	会計区分 1 一般会計 事業優先度 B 政策事務分類 2 単独自治事務(個別計画) 見直し年度 無 担当課 12 教育委員会教育振興課 関係課 #N/A ハット/ソフト 事業区分 2 ソフト事業 関係例規・法令名 無 関係個別計画名 無	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
事業名 武雄市児童交流事業 事業期間 平成30年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業指標 武雄市への児童派遣及び受入れ 事業目標 派遣児童16名、引率者4名及び受入れ児童16名 町民参加 有 町民(児童)の参加を募り派遣を実施 町民協働		

計画内容	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	経費	事業内容	経費	事業内容	経費
武雄市への児童派遣及び受入れ	派遣経費 10千円 報酬費 596千円 旅需用費 45千円 負担金 1,904千円	2,810	派遣経費 24千円 報酬費 602千円 旅需用費 51千円 負担金 1,254千円	2,204	派遣経費 24千円 報酬費 602千円 旅需用費 51千円 負担金 1,254千円	2,204
	受入経費 40千円 報酬費 3千円 旅需用費 193千円 使用料 19千円		受入経費 40千円 報酬費 3千円 旅需用費 199千円 使用料 21千円		受入経費 40千円 報酬費 3千円 旅需用費 199千円 使用料 21千円	
事業費(千円)	12,122	2,700		2,204		2,204
国庫支出金	0					
道支出金	0					
地方債	0					
その他	1,950	480		330		330
一般財源	10,172	2,220		1,874		1,874
事業費(千円)	6,262	1,971		2,068		2,068
国庫支出金	0					
道支出金	0					
地方債	930	300				
その他	5,332	1,671				
特定財源の名称						
武雄市児童交流事業参加者負担金						
【評価・実績】	(実施内容等) 武雄市への児童派遣 児童12名、引率者4名 他 学校交流・ホームステイ 他 武雄市児童の受入 児童11名、引率者3名 他 学校交流・ホームステイ 他 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 B-継続/内容の見直し・変更 派遣児童16名、受入児童16名	(実施内容等) 武雄市への児童派遣 児童9名、引率者3名 他 学校交流 他 武雄市児童とのオンライン交流 雄武小6年生児童9名 他 武雄市派遣児童9名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 B-継続/現状維持 派遣児童11名、受入児童11名	(実施内容等) 武雄市への児童派遣 児童9名、引率者3名 他 学校交流 他 武雄市児童とのオンライン交流 雄武小6年生児童9名 他 武雄市派遣児童9名 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 B-継続/現状維持 派遣児童11名、受入児童11名			
年度目標達成率	73%					94%
年度達成率	16%					52%
全体達成率						0%
備考						※事務事業評価結果

事業名	武雄市児童交流事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	高橋 秀

■事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が(対象)	町小学生(5年生・6年生)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	派遣児童11人 受け入れ児童11人
抱える課題やニーズ	異なる地域の文化や生活を体験する機会や、児童による地域間交流を行う機会の不足	指標(指標計算式/解説)	目標年度 令和3年度 実績値 11人
どのような状態になることを目指したのか(意図)	児童の健全育成及び児童による地域間交流の推進	① 派遣児童	実績値 9人 達成率 81.8%
その結果、どのような成果を实现了いか ※成果=目的	本町の将来を担う人材の育成と、友好都市である武雄市との地域間交流の更なる発展。	② 武雄市児童受入	目標年度 令和3年度 実績値 11人 達成率 0.0%
内容(どのような手段で行ったか)	雄武町児童派遣 武雄市児童受入		
	児童9名を派遣し、学校交流を体験		
	「新型コロナウイルス感染症」感染予防対策として、武雄市とのオンライン交流を実施		

■事業の評価 (Check)

(1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担当が必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	児童の健全育成と地域間交流のため、本事業は必要である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか) 設定した目標の達成状況

概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	「新型コロナウイルス感染症」感染拡大により、武雄市からの児童派遣が中止とされたため、目標値を達成出来なかったが、オンラインによる交流を実施し、地域や文化の違いを学ぶことができ
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事業の効率性(コストに異なった効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	複数の旅行代理店による見積り合わせや航空チケットの早期発注により経費の削減に努めた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減	
課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	派遣児童は小学5年・6年生に限っているが、等しく募集を行っているが、適切な受益者負担を求めている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】
 A:計画通り事業が進んでいて、目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		

派遣児童数は下回ったものの、コロナ禍においても、オンライン設備等を活用し、児童の地域間交流が実施でき、事業目的は達成された。

今後の展開方向 (Action)

継続/現状維持

児童の健全育成と地域間交流の推進は重要と考えるため、コロナ禍においても実施できるように工夫しながら、今後も事業継続が必要である。

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又はは縮小又は統合又はは内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12020030

政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～
基本施策	12 生涯学習・生涯スポーツの推進
単位施策	1 生涯学習活動の推進
事業名	家庭教育推進事業
事業期間	平成30年度～令和4年度
事業主体	雄武町
事業指標	町内各学校での取り組み
事業目標	全学校での開催
町民参加	有
町民協働	有
PTAとの協働	有
会計区分	1 一般会計
事業優先度	B
政策事務分類	3 単独自治事務(その他)
見直し年度	
担当課	12 教育委員会教育振興課
関係課	#N/A
ハート/ソフト事業区分	2 ソフト事業
関係例規・法令名	
関係個別計画名	無

【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はの記載

計画内容	令和3年度		令和2年度		令和1年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	家庭教育学級への助成支援 家庭教育講演会の開催	
事業費(千円)	1,410	290	250	290	290	290	290	
国庫支出金	0							
道支出金	0							
地方債	0							
その他	0							
一般財源	1,410	290	250	290	290	290	290	
事業費(千円)	360	100	54	3			0	
国庫支出金	0							
道支出金	0							
地方債	0							
その他	0							
一般財源	360	100	54	3			0	
特定財源の名称	(実施内容等) 各学校の学級開設助成支援 開設学級1学級 家庭教育講演会 参加者131名	(実施内容等) 各学校の学級開設助成支援 開設学級1学級 家庭教育講演会 参加者137名	(実施内容等) 開設学級1学級 家庭教育講演会 参加者48名	(実施内容等) 開設学級1学級 家庭教育講演会 参加者48名	(実施内容等) 開設学級1学級 家庭教育講演会 参加者48名	(実施内容等) 開設学級1学級 家庭教育講演会 参加者48名	(実施内容等) 開設学級1学級 家庭教育講演会 参加者48名	
【評価・実績】	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持 講演会の開催、学級の全校開催 34%	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持 講演会の開催、学級の全校開催 7%	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持 講演会の開催、学級の全校開催 22%	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持 講演会の開催、学級の全校開催 11%	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持 講演会の開催、学級の全校開催 1%	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持 講演会の開催、学級の全校開催 1%	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持 講演会の開催、学級の全校開催 1%	
第5期計画からの継続 (継続有)	34%	7%	22%	11%	1%	1%	0%	
後期計画への継続 (継続有)	7%		11%	11%	26%	26%	26%	

事業名	家庭教育推進事業	評価者	管理職 藤氏名	中村 文隆
		評価者	作成者 藤氏名	高橋 秀
			教育振興課長	
			生涯教育係長	

■事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	小学生・中学生及びその保護者	講演会の開催と開設学校数	目標年度	令和3年度
抱える課題やニーズ	親子のふれあい、家庭における学びの場が不足している。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	目標年度	令和3年度
どのような状態になることを目指したのか(意図)	親子のふれあいによる絆の確立と家庭の教育力の向上を図る。	① 指標(指標計算式/解説)	実績値	6回
その結果、どのような成果を实现了たか	家庭の教育力の向上による子どもたちの健全育成と育ちを支える学びの推進	家庭教育講演会(1回)	達成度	2回
※成果=目的		家庭教育学級(6回)		33.3%
		②	目標年度	令和3年度
			実績値	
			達成度	

内容(どのような手段で何をを行ったか)	家庭教育講演会の開催 家庭教育学級の開設	雄武町PTA連合会との共催による講演会の実施
		各小中学校のPTAが中心となって、レクリエーション等の実施を予定したが、共栄小学校のみの実施となった

■事業の評価(Check)

(1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	家庭教育に関する学びを創出する場の提供は、教育行政が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)

感得した自覚値の達成状況

概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	家庭教育講演会の開催は計画どおり実施できたが、家庭教育学級の開設は目標値には至らなかった。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	講演会参加者へのアンケート結果では高い評価が得られており、満足度の高い内容であった。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	講演会は誰でも参加できる内容であったため、公平性は保たれている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価(A~D)
A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B: ほぼ計画とおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
講演会は計画通り実施できたが、学級の開設が目標値を下回っている。		



継続/現状維持	家庭教育学級における各学級の取組について、周知徹底を図り、開設増を目指す。
---------	---------------------------------------

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12020040

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 12 生涯学習・生涯スポーツの推進 単位施策 1 生涯学習活動の推進	会 計 区 分 1 一般会計 事業優先度 B 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 見直し年度 12 教育委員会教育振興課 関係係 #N/A ハート/ソフト事業区分 2 ソフト事業 関係例規・法令名 無 関係個別計画名 無	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は下記記載
事業名 社会教育関係団体活動費補助事業 事業期間 平成30年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業指標 社会教育関係団体の育成 事業目標 社会教育関係3団体への助成 町民参加 有 社会教育団体の加入・育成 町民協働		

計 画 内 容	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
社会教育関係団体への活動費補助	雄武町文化連盟 320千円 雄武町子ども育成会 230千円 雄武町PTA連合会 100千円	雄武町文化連盟 320千円 雄武町子ども育成会 230千円 雄武町PTA連合会 100千円	雄武町文化連盟 320千円 雄武町子ども育成会 230千円 雄武町PTA連合会 100千円	雄武町文化連盟 320千円 雄武町子ども育成会 230千円 雄武町PTA連合会 100千円		
事業費(千円)	3,250	650	650	650	650	650
財源						
国庫支出金	0					
道支出金	0					
地方債	0					
その他	0					
一般財源	3,250	650	650	650	650	650
事業費(千円)	2,500	650	650	650	650	650
財源						
国庫支出金	0					
道支出金	0					
地方債	0					
その他	0					
一般財源	2,500	650	650	650	650	650
特定財源の名称	(実施内容等) 雄武町文化連盟 320千円 雄武町子ども育成会 230千円 雄武町PTA連合会 100千円	(実施内容等) 雄武町文化連盟 320千円 雄武町子ども育成会 230千円 雄武町PTA連合会 100千円	(実施内容等) 雄武町文化連盟 320千円 雄武町子ども育成会 230千円 雄武町PTA連合会 100千円	(実施内容等) 雄武町文化連盟 320千円 雄武町子ども育成会 230千円 雄武町PTA連合会 100千円	(実施内容等) 雄武町文化連盟 320千円 雄武町子ども育成会 230千円 雄武町PTA連合会 100千円	(実施内容等) 雄武町文化連盟 320千円 雄武町子ども育成会 230千円 雄武町PTA連合会 100千円
関連事項	【評価・実績】 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 3団体への助成 100% 20% 年度目標値 年度達成率 全体達成率 備 考					
	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 3団体への助成 100% 40%					
	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 3団体への助成 85% 57%					
	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 3団体への助成 100% 77%					

事業名	社会教育関係団体活動費補助事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	高橋 秀

■ 事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が(対象)	社会教育関係団体	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	3団体への助成						
抱える課題やニーズ	人口減による少子高齢化等によって、社会教育団体の活動が停滞傾向にある。	指標(指標計算式/解説)	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>実績年度</td> <td>3団体</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	令和3年度	実績年度	3団体	達成率	100.0%
目標年度	令和3年度								
実績年度	3団体								
達成率	100.0%								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	社会教育団体については自主財源に乏しいことから、活動費の一部を助成することによって活発な活動を促す。								
その結果、どのような成果を挙げていたか ※成果＝目的	社会教育活動に興味・関心ある町民が、その活動を通じてつながり意識や町民同士の絆を育み、町の活性化が図られる。								
内容(どのような手段で何をを行ったか)	文化連盟(320千円)、子ども育成会(100千円)								

■ 事業の評価 (Check)

(1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	<input type="checkbox"/>
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	<input type="checkbox"/>

社会教育活動を担う中核的団体に対する補助は、町の活性化に繋がりを生み出すことにより、地域の学びに貢献する。

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	<input type="checkbox"/>
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	下回る	<input type="checkbox"/>

各団体においては、活発に事業展開をしており、期待する効果が得られている。

(3) 事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	補助金を交付するにあたり、事業内容、予算及び決算を精査し、適正な助成を行っていることから、効率性は保たれている。

(4) 事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input checked="" type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	社会教育活動を推進する中核的団体に対する助成であることから、公平性は保たれている。

■ その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価【A～D】
 A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B: ほぼ計画通り進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
各社会教育関係団体は、いずれも自主事業の展開を図っており、それぞれの分野において、本町の社会教育推進に寄与している。		
今後の展開方向 (Action)		
継続/現状維持		
本町の社会教育推進のため、各社会教育関係団体に協賛する支援を行う本事業は、継続していく必要がある。		

※ 展開方向の区分
 ○ 継続/現状維持 又は 拡充 又は 縮小 又は 統合 又は 内容の見直し・変更
 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12020050

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 12 生涯学習・生涯スポーツの推進 単位施策 2 生涯スポーツ活動の推進	事業種別 3 B 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 見直し年度 見直し年度 担当 12 教育委員会教育振興課 関係課 #N/A ハート/ソフト事業区分 #N/A 関係別記 2 ソフト事業 関係別記 無 関係別記 無	会計区分 1 一般会計
事業名 社会体育団体活動費助成事業 事業期間 平成30年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業指標 団体数 事業目標 体育連盟～20 スポーツ少年団～4 町長参加 有 町民協働 有		

【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する割合のみ記載

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
体育連盟・スポーツ少年団への活動費助成 体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	540	540	540	540	540	540	540	
事業費(千円) 国庫支出金 2,700 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 2,700 事業費(千円) 2,160 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 2,160	540	540	540	540	540	540	540	
特定財源の名称 (実施内容等) 体育連盟(400千円) 少年団(140千円)	540	540	540	540	540	540	540	
【評価・実績】 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 2団体への助成	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 2団体への助成	20%	40%	60%	80%	80%	80%	80%	
※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 2団体への助成	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 2団体への助成	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	

第5期計画からの継続 (継続有り)	100%
後期計画への継続 (継続有り)	20%
年度目標値 年度達成率 全体達成率	備考

事業名	社会体育団体活動費助成事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	高橋 秀
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長

■事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	体育連盟・スポーツ少年団本部
抱える課題やニーズ	町内の各スポーツ団体・少年団活動の活性化
どのような状態になることを目指したのか(意図)	町内の各スポーツ団体・少年団活動は、いずれも自主財源に乏しいことから、体育連盟及びスポーツ少年団本部を通じて、活動費の一部を助成することにより、活発な活動を促す。
その結果、どのような成果を実現したのか ※成果=目的	スポーツに親しむ町民の拡充とスポーツを通じて地域の活性化を図る。
内容(どのような手段で行ったか)	団体への助成 スポーツ協会(400千円)、スポーツ少年団(140千円)

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	加盟団体の維持
① 指標(指標計算式/解説)	<p>スポーツ協会加盟団体数</p> <p>目標年度 令和3年度 14団体</p> <p>実績年度 13団体</p> <p>達成率 92.9%</p>
②	<p>スポーツ少年団加盟団体数</p> <p>目標年度 令和3年度 3団体</p> <p>実績年度 3団体</p> <p>達成率 100.0%</p>

■事業の価値(Check)

(1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的もの	町内の各スポーツ団体及び少年団は、スポーツ活動を通じた地域の活性化や将来の指導者を育成する役割を担っていることから、基幹団体となるスポーツ協会及びスポーツ少年団を通じて、育成、支援は、教育行政が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	認定した目標の達成状況	スポーツ協会及びスポーツ少年団本部の主催事業は実施されていないが、加盟団体は主催事業や参加事業を通じて主体的な活動を行っている。期待した効果が得られている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事業の効率性(コストに合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	補助金を交付するにあたり、事業内容、予算及び決算を精査し、適正な助成を行っていることから、効率性は保たれている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4) 事業の公平性

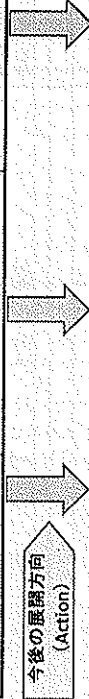
公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	社会体育活動を推進する中核的団体に対する助成であることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益負担がある	
/不公平でない	<input type="checkbox"/>	受益負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--	--

■総合評価(A~D)
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
スポーツ協会及びスポーツ少年団本部の主催事業は実施されていないが、加盟団体が活発に活動しており、本町のスポーツ振興に寄与している。		



※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

事業名	雄武町スポーツ振興事業	評価者	管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 秀
事業の目的・内容 (Plan・Do)	町民	評価者	管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 秀

誰、何が(対象)	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	大会出場個人(2人)、団体(1団体)
抱える課題やニーズ	全道・全国大会への出場に際し、出場者の経済的負担が大きい。	指標(指標計算式/解説)	個人 ① 目標年度 令和3年度 目標値 2人 実績値 23人 達成度 1150.0 % 団体 ② 目標年度 令和3年度 目標値 1団体 実績値 1団体 達成度 100.0 %
どのような状態になることを目指したのか(意図)	大会出場者の経済的負担が軽減される。		
その結果、どのような成果を實現したか ※成果＝目的	レベルが高い大会への出場を促進することにより、本町のスポーツ愛好家の競技に関する技術や意識の向上を図るとともに、指導者としてその技能を町民に還元してもらい、本町のスポーツの活性化を目指す。		
内容(どのような手段で行ったか)	全道・全国大会出場への助成 <small>全道・全国大会出場者に対し助成を行った。雄武町高等学校(全国高校陸上競技選手権大会、全国高校陸上競技選手権大会北海道予選)、雄武高等学校卓球大会(高校選抜卓球大会北海道予選)、雄武高等学校ソフトテニス部(国民体育大会ソフトテニス競技北海道予選)、個人(北海道卓球選手権大会)、雄武中学校卓球部(北海道中学校卓球大会)</small>		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	<input type="checkbox"/>
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	<input type="checkbox"/>

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

設定した目標の達成状況

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	<input type="checkbox"/>
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	<input type="checkbox"/>

(3)事務事業の効率性(コストに合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

判断の理由

効率的	<input type="checkbox"/>	事業抑制	<input type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減	<input type="checkbox"/>
課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

(4)事務事業の公平性

判断の理由

公平	<input type="checkbox"/>	受益負担がある	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益負担がない	<input type="checkbox"/>
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価(A~D)

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D:事業効果が表れていない。事業の縮小、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価) 評価会議評価(二次評価) 町長評価(三次評価)

A
大会出場者数が目標値を大幅に上回っており、経済的負担を軽減することにより、本町のスポーツの活性化に効果があった。

今後の展開方向(Action)

継続/拡充
スポーツ活動の推進、指導者育成、大会出場者が持つ技術の町民への還元、本町のPR効果など、多くの効果が期待でき、近年は利用者が増加していることから、予算の増額が必要である。

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 12020091

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 12 生涯学習・生涯スポーツの推進 単位施策 2 生涯スポーツ活動の推進	会計区分 1 一般会計 事業優先度 B 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 長短 年度 12 教育委員会教育振興課 関係 課 #N/A ハート/ソフト 事業区分 2 ソフト事業 関係 課 #N/A 関係 課 #N/A 関係 課 #N/A	全体計画 令和元年度～令和4年度 事業内容 生涯スポーツ推進事業 事業期間 令和元年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業指標 参加者数 事業目標 参加者300人 町民参加 有 各事業ごとに参加者を募り開催 町民協働
--	---	---

【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
スポーツ大会の開催 1 さわやかスポーツ大会 2 雪合戦 3 自治会対抗スポーツ大会 4 オムリンピック 5 キンポール大会 スポーツ教室等の実施 1 学社融合ブルームボール教室 2 AED講習会 3 遊びの総合運動事業～みんな元気アップ! 4 アスリート塾	スポーツ大会の開催 1 さわやかスポーツ大会 2 雪合戦 3 自治会対抗スポーツ大会 4 自治会対抗スポーツ大会 5 キンポール大会 スポーツ教室等の実施 1 学社融合ブルームボール教室 2 AED講習会 3 遊びの総合運動事業	スポーツ大会の開催 1 さわやかスポーツ大会 2 雪合戦 3 自治会対抗スポーツ大会 4 自治会対抗スポーツ大会 5 キンポール大会 スポーツ教室等の実施 1 学社融合ブルームボール教室 2 AED講習会 3 遊びの総合運動事業	スポーツ大会の開催 1 さわやかスポーツ大会 2 雪合戦 3 自治会対抗スポーツ大会 4 自治会対抗スポーツ大会 5 キンポール大会 スポーツ教室等の実施 1 学社融合ブルームボール教室 2 AED講習会 3 遊びの総合運動事業	スポーツ大会の開催 1 さわやかスポーツ大会 2 雪合戦 3 自治会対抗スポーツ大会 4 自治会対抗スポーツ大会 5 キンポール大会 スポーツ教室等の実施 1 学社融合ブルームボール教室 2 AED講習会 3 遊びの総合運動事業	スポーツ大会の開催 1 さわやかスポーツ大会 2 雪合戦 3 自治会対抗スポーツ大会 4 自治会対抗スポーツ大会 5 キンポール大会 スポーツ教室等の実施 1 学社融合ブルームボール教室 2 AED講習会 3 遊びの総合運動事業	スポーツ大会の開催 1 さわやかスポーツ大会 2 雪合戦 3 自治会対抗スポーツ大会 4 自治会対抗スポーツ大会 5 キンポール大会 スポーツ教室等の実施 1 学社融合ブルームボール教室 2 AED講習会 3 遊びの総合運動事業	スポーツ大会の開催 1 さわやかスポーツ大会 2 雪合戦 3 自治会対抗スポーツ大会 4 自治会対抗スポーツ大会 5 キンポール大会 スポーツ教室等の実施 1 学社融合ブルームボール教室 2 AED講習会 3 遊びの総合運動事業	
事業費(千円) 国庫支出金 5,350 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 5,350 事業費(千円) 671 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 671	1,170	1,170	1,050	1,050	1,050	1,050	2,080	
特定財源の名称 (実施内容等) さわやかスポーツ大会 自治会対抗スポーツ大会 キンポール大会 学社融合ブルームボール教室 AED講習会 遊びの総合運動事業 ※事務事業評価結果 A.継続/現状維持 大会参加者300人	(実施内容等) さわやかスポーツ大会 学社融合ブルームボール教室 キンポール大会 学社融合ブルームボール教室 AED講習会 遊びの総合運動事業 ※事務事業評価結果 A.継続/現状維持 大会参加者300人	(実施内容等) さわやかスポーツ大会 学社融合ブルームボール教室 キンポール大会 学社融合ブルームボール教室 AED講習会 遊びの総合運動事業 ※事務事業評価結果 B.継続/現状維持 大会参加者200人	(実施内容等) さわやかスポーツ大会 学社融合ブルームボール教室 キンポール大会 学社融合ブルームボール教室 AED講習会 遊びの総合運動事業 ※事務事業評価結果 B.継続/現状維持 大会参加者200人	(実施内容等) さわやかスポーツ大会 学社融合ブルームボール教室 キンポール大会 学社融合ブルームボール教室 AED講習会 遊びの総合運動事業 ※事務事業評価結果 B.継続/現状維持 大会参加者200人	(実施内容等) さわやかスポーツ大会 学社融合ブルームボール教室 キンポール大会 学社融合ブルームボール教室 AED講習会 遊びの総合運動事業 ※事務事業評価結果 B.継続/現状維持 大会参加者200人	(実施内容等) さわやかスポーツ大会 学社融合ブルームボール教室 キンポール大会 学社融合ブルームボール教室 AED講習会 遊びの総合運動事業 ※事務事業評価結果 B.継続/現状維持 大会参加者200人	(実施内容等) さわやかスポーツ大会 学社融合ブルームボール教室 キンポール大会 学社融合ブルームボール教室 AED講習会 遊びの総合運動事業 ※事務事業評価結果 B.継続/現状維持 大会参加者200人	
第5期計画からの継続 後期計画への継続 (継続有り)	年度目標値 年度達成率 全体達成率 備考	0% #DIV/0! 0%	31% 7%	19% 11%	10% 13%	10% 13%	0% 13%	
関連事項	年度目標値 年度達成率 全体達成率 備考	0% #DIV/0! 0%	31% 7%	19% 11%	10% 13%	10% 13%	0% 13%	

事業名	生涯スポーツ推進事業	評価者	菅道雄 藤氏名	中村 文隆
		評価者	菅道雄 藤氏名	高橋 秀
		評価者	菅道雄 藤氏名	高橋 秀

■ 事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	大会参加者
抱える課題やニーズ	人口減少と少子高齢化の進行により、町民がスポーツに親しむ機会及びスポーツ人口が減少していることから、各種スポーツ大会やスポーツ教室などを複合的・横断的に開催し、スポーツ活動を活性化していく必要がある。	① 大会参加者	目標年度 令和3年度 実績年度 200人 達成率 117%
どのような状態になることを目指したのか(意図)	各種大会と講演、ワークショップなどを複合的かつ効果的に開催することで、多くの町民がスポーツに親しみ、健康増進やスポーツを通じた交流が行われる。	②	目標年度 令和3年度 実績年度 58.5 % 達成率
その結果、どのような成果を表現したか ※成果＝目的	包括的なスポーツ活動が推進されることで、スポーツを通じた地域の活性化が図られる。		
内容(どのような手段で行ったか)	スポーツ大会の開催 スポーツ教室の開催		
	さわやかスポーツ大会(スズメ協会の主催)、自治会対抗スポーツ大会(パークゴルフ大会)、キンポール大会 遊びの総合運動事業(水泳教室)は実施出来たが、学社融合ブルームボール教室及びAED講習会については「新型コロナウイルス感染症」対策として中止した		

■ 事業の評価 (Check)

(1) 事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	<input type="checkbox"/>
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	達成	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	下回る	<input type="checkbox"/>

(2) 事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

課題あり	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	<input type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	判断の理由	
課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	人員削減	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

(3) 事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げた工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	町内外の指導者を活用し、効果的なスポーツ活動の推進が図られることから効率的である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	

(4) 事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	<input type="checkbox"/>
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

■ その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--	--

■ 総合評価 (A～D)
A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C: 当初の計画を達成できていない。事業規模・内容・実施主体等の見直しが必要等
D: 事業効果が表れていない。事業の統合・休止の検討が必要等

自己評価 (一次評価)	評価全議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
B		



継続/現状維持	
今後も、計画どおりスポーツ大会及びスポーツ教室を横断的かつ効果的に開催し、一人でも多くの町民がスポーツに親しみ、社会の realization に向け、町民への周知徹底し、参加者の増に努める。	

※ 展開方向の区分
○ 継続/現状維持又は拡充又は統合又は内容の見直し・変更
○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

事業名	芸術文化公演事業	評価者	菅理 職氏名 評面者 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 秀
-----	----------	-----	-----------------------	---------------

■事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	市民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	鑑賞回数
抱える課題やニーズ	市民は、様々な芸術・文化に触れる機会が不足している。	指標(指標計算式/概説)	目標年度 令和3年度 目標値 3回 実績値 1回 達成度 33.3%
どのような状態になることを目指したのか(意図)	様々な芸術・文化に触れる機会を創出し、市民の芸術・文化に対する興味や理解を促進する。	①	鑑賞回数
その結果、どのような成果を实现了いか ※成果=目的	市民の芸術・文化活動への興味や理解が深まり、町の文化的な取り組みが活性化される。	②	目標年度 令和3年度 目標値 実績値 達成度

内容(どのような手段で何を行ったか)	芸術鑑賞会の開催 保育所・小学校については、「新型コロナウイルス感染症」感染対策として中止としたが、中学校・高等学校は実施
--------------------	--

■事業の評価(Check)

(1) 事業の必要性(市民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	職務的なもの	町民の芸術・文化に対する興味や理解を深めるため、様々な芸術や文化に触れる機会を創出することは、生涯学習の一環として必要な取組である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	判定した目標値の達成状況	芸術鑑賞会では、「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大に伴い、中高生のみ鑑賞機会を提供することができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	未達成	

(3) 事業の効率性(コストに合わせた効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	中高生については、学校等の要望を取り入れながら、計画どおり実施することができた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮/作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	幅広い年代層を対象としていることから、公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

継続/現状維持	生涯学習の観点から、芸術・文化活動は必要な取組であることから、今後も継続していく必要がある。
---------	--

■総合評価(A~D)
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	町長評価(三次評価)
B	



※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12020110

政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～	
基本施策	12 生涯学習・生涯スポーツの推進	
単位施策	4 芸術・文化の振興	
事業名	陶芸推進事業	
事業期間	平成30年度～令和4年度	
事業主体	雄武町	
事業指標	工房利用者への支援及び作陶技術の向上	
事業目標	管理体制と愛好者への指導及び普及	
町民参加	有 町民を対象とし陶芸活動の推進を図っている	
町民協働	無	
会計区分	1 一般会計	B
事業優先度	3 単独自治事務(その他)	
政策事務分類	12 教育委員会教育振興課	
見直し年度	#N/A	
担当	#N/A	
関係係	2 ソフト事業	
ハート/ソフト事業区分	無	
関係例規・法令名	無	
関係個別計画名	無	

[[全体計画内容] ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	工房施設の管理と愛好者への支援 陶芸教室等の開催	
事業費(千円)	4,585	890	890	935	935	935	935	
財源	国庫支出金 道支出金 地方債 その他	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	
事業費(千円)	4,585	890	890	935	935	935	935	
財源内訳	国庫支出金 道支出金 地方債 その他	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	
特定財源の名称	3,534	872	807	816	1,039	1,039	(実施内容等)	
【評価・実績】	実施内容等 施設管理と愛好者支援	実施内容等 施設管理と愛好者支援	実施内容等 施設管理と愛好者支援	実施内容等 施設管理と愛好者支援	実施内容等 施設管理と愛好者支援	実施内容等 施設管理と愛好者支援	実施内容等 施設管理と愛好者支援	
※事務事業評価結果	A-継続/現状維持 利用者700人	A-継続/現状維持 利用者700人	B-継続/拡充 利用者700人	B-継続/拡充 利用者700人	B-継続/現状維持 利用者700人	B-継続/現状維持 利用者700人	※事務事業評価結果 利用者700人	
※5期計画からの継続 (継続有り)	98%	91%	81%	87%	111%	111%	0%	
※後期計画への継続 (継続有り)	19%	37%	54%	54%	77%	77%	77%	

事業名	陶芸推進事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	高橋 秀

■ 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	利用者数
抱える課題やニーズ	陶芸工房施設の適切な維持管理と利用の促進	指標(指標計算式/解説)	① 利用者数 ②
どのような状態になることを目指したのか(意図)	良好な施設環境の維持と愛好者(利用者)に対する活動支援	目標年度	令和3年度 700人
その結果、どのような成果を 実現したのか ※成果=目的	本町における陶芸工房の活性化及び幅広い町民への普及	実績年度	令和3年度 526人 75.1%
内容(どのような手段で何を 行ったか)	陶芸工房施設の管理(3人体制)と愛好者への支援 陶芸教室の開催(雄武小、沢木小、豊丘小、共栄小)	目標年度	令和3年度
	施設管理と愛好者への陶芸指導	実績年度	令和3年度
	陶芸教室等の開催	達成度	

■ 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性(コストに原合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■ その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B: ほぼ計画とおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D: 事業効果が表れていない。事業の中止・休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		



今後の展開方向 (Action)	継続/現状維持
適切な施設管理・運営が行われており、今後はより多くの町民への普及促進のため、支援していく必要がある。	

* 展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了
- 休止
- 廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12020120

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 12 生涯学習・生涯スポーツの推進 単位施策 4 芸術・文化の振興	会計区分 1 一般会計 事業優先度 B 政策事務分類 1 単独自治事務(例規) 見直し年度 担当 12 教育委員会教育振興課 関係課 #N/A #N/A ハート/ソフト事業区分 2 ソフト事業 関係例規・法令名 有 雄武町芸術文化振興事業補助金交付要綱 関係個別計画名 無	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載
事業名 雄武町芸術文化振興事業 事業期間 平成30年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業指標 申請件数 再発目標 個人2 団体1 町民協働 有 各種大会に出場する個人・団体への経費の補助		

計画内容	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
芸術文化振興補助 芸術文化の分野で全道大会以上に出場する個人・団体に対して必要経費の一部を助成する。	芸術文化振興補助	芸術文化振興補助	芸術文化振興補助	芸術文化振興補助	芸術文化振興補助	芸術文化振興補助
事業費(千円) 国庫支出金 1,500 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 1,500 事業費(千円) 158 国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 158	300	300	300	300	300	300
特定財源の名称 (実施内容等) 個人(全道) 1名 個人(全国) 2名	300	300	300	300	300	300
【評価・実績】 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 個人2人、団体1	110	48	48	0	0	0
第5期計画からの総額 (継続無し) 後期計画への総額 (継続有り)	37%	7%	16%	11%	0%	11%
年度目標達成率 年度達成率 全体達成率 備考	37%	7%	16%	11%	0%	11%

事業名	嵯峨町芸術文化振興事業	評価者	管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者	作成者 職氏名	高橋 秀
			教育振興課長	
			生涯教育係長	

■ 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

町民	大会出場個人(2人)、団体(1団体)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	大会出場個人(2人)、団体(1団体)
抱える課題やニーズ	全道・全国大会への出場に際し、出場者の経済的負担が大きい。	指標(指標計算式/解説)	目標年度 令和3年度 目標値 2人 実績値 0人 達成率 0.0%
どのような状態になることを目指したのか(意図)	大会出場者の経済的負担が軽減される。	① 個人	目標年度 令和3年度 目標値 1団体 実績値 0団体 達成率 0.0%
その結果、どのような成果を實現したか ※成果=目的	レベルが高い大会への出場を促進することにより、本町の芸術文化に関する技術や意識の向上を図るとともに、その技能を町民に還元してもらい、本町の芸術文化の活性化を目指す。	② 団体	
内容(どのような手段で何をを行ったか)	全道・全国大会出場の助成		

■ 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■ その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価(A~D)
A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		



継続/現状維持	全道・全国大会への出場意欲と芸術文化活動の推進が期待されることから、継続する必要がある。
---------	--

※ 展開方向の区分
○ 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○ 終了 ○ 廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12020130

政策目標	5 【連帯感を高める協働のまち・雄武】～協働によるまちづくりの推進～
基本施策	20 町民主体のまちづくりの推進
単位施策	3 町長との協働体制の構築
事業名	学校支援活動推進事業
事業期間	平成30年度～令和4年度
事業主体	雄武町
事業指標	コーディネーターの配置、学校支援ボランティアの養成及び活動支援
事業目標	コーディネーターの1名配置、学校支援活動実施
町民参加	有
町民協働	無

【全体計画内容】	
会計区分	1 一般会計
事業優先度	A
政策事務分類	3 単独自治事務(その他)
負担し年度	
担当課	12 教育委員会教育振興課
関係係	#N/A
ハート/ソフト事業区分	2 ソフト事業
関係例規・法令名	
関係個別計画名	

【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は記載

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
コーディネーターの配置 学校支援活動の実施	学校支援活動推進事業経費 報償費 120千円 需用費 35千円 役務費 45千円	学校支援活動推進事業経費 報償費 120千円 需用費 35千円 役務費 45千円	学校支援活動推進事業経費 報償費 120千円 需用費 35千円 役務費 45千円	学校支援活動推進事業経費 報償費 120千円 需用費 35千円 役務費 45千円	学校支援活動推進事業経費 報償費 120千円 需用費 35千円 役務費 45千円	学校支援活動推進事業経費 報償費 120千円 需用費 35千円 役務費 45千円	学校支援活動推進事業経費 報償費 120千円 需用費 35千円 役務費 45千円	
事業費(千円)	1,000	200	200	200	200	200	200	
財源	国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0							
財源内訳	1,000	200	200	200	200	200	200	
事業費(千円)	349	66	138	105	40			
財源	国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0							
財源内訳	349	66	138	105	40			
特定財源の名称	(実施内容等) 読書活動支援校 5校 学習支援 6種類	(実施内容等) 読書活動支援校 5校 学習支援 6種類	(実施内容等) 読書活動支援校 5校 学習支援 6種類	(実施内容等) 読書活動支援校 4校 学習支援 2種類	(実施内容等) 読書活動支援校 4校 学習支援 2種類	(実施内容等) 読書活動支援校 4校 学習支援 2種類	(実施内容等) 読書活動支援校 4校 学習支援 2種類	
関連事項	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 支援活動5校、コーディネーターの配置1名 33%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 支援活動5校、コーディネーターの配置1名 69%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 支援活動5校、コーディネーターの配置1名 53%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 支援活動5校、コーディネーターの配置1名 20%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 支援活動5校、コーディネーターの配置1名 20%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 支援活動5校、コーディネーターの配置1名 0%	
年度目標値	33%	69%	53%	20%	20%	20%	0%	
年度達成率	7%	7%	7%	31%	31%	31%	35%	
全体達成率								
備考								

事業名	学校支援活動推進事業	評価者	高理蔵 蔵氏名	中村 文隆
		評価者	作成者 蔵氏名	高橋 秀
			生涯教育係長	

■ 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が(対象)	町内小中学校	希望する学校の支援
抱える課題やニーズ	学校が要望する支援内容に応じたボランティアの発掘・派遣及びコーディネーターの配置	目指す達成状況(成果指標)
どのような状態になることを目指したのか(意図)	地域全体で学校教育を支援する体制づくり	① 小学校 4校 中学校 1校
その結果、どのような成果を表現したか ※成果＝目的	地域の教育力を活用することで子どもたちに多様な体験・経験の機会を提供し、効果的な教育活動を図る。	②
内容(どのような手段で何をを行ったか)	ボランティア募集 読書支援 学習支援	目標年度 令和3年度 実績値 5校 達成率 5校 100.0 % 目標年度 令和3年度 実績値 達成率

■ 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担当が必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか) 設定した目標値の達成状況

有効	<input type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る

(3) 事務事業の効率性(コストに算入した効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減
課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■ その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価(A~D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		



継続/現状維持	地域による学校支援は、児童生徒の教育向上につながるだけでなく、地域コミュニティの活性化にも期待できることから、継続して支援する必要がある。新型コロナウイルス感染症「関係」については、今後、注視しながら、取り組むこととする。
---------	---

※ 展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容は内容の見直し・変更
- 終了
- 休止
- 廃止

第6期 雄武町 前期実施計画 兼 事務事業事後評価調査書

様式1

No. 12020150

政策目標	5 【連携を高める協働のまち・雄武】～協働によるまちづくりの推進～
基本施策	22 効果的・効率的な行政経営
単位施策	3 公共施設の適切な管理
事業名	町民センター施設整備事業
事業期間	平成30年度～令和4年度
事業主体	雄武町
事業指標	施設整備
事業目標	施設整備
町民参加	無
町民協働	無

【全設計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
町民センター施設整備	吊物装置修繕工事 1,231千円 刈払機更新 49千円 電気暖房機改修工事 1,080千円 エアー搬送ファン設置工事 3,120千円	印刷機更新 3,030千円 大集会室照明機器改修 (1期～3期) 47,970千円 町民センター清掃業務委託 370千円 職員用椅子購入 266千円 レーザープリンター他 297千円 教育長室会議用備品 800千円	町民センター長寿命化改修調査委託 1,276千円 教育長室会議用備品 800千円	町民センターWi-Fi環境整備 3,300千円				
事業費(千円)	82,226	1,280	4,200	51,370	2,076		3,300	
財源内訳								
国庫支出金	0							
道支出金	0							
地方債	0							
その他	15,000			15,000				
一般財源	47,226	1,280	4,200	36,370	2,076		3,300	
事業費(千円)	11,169	1,199	4,104	4,656	1,210		0	
財源内訳								
国庫支出金	0							
道支出金	0							
地方債	0							
その他	0							
一般財源	11,169	1,199	4,104	4,656	1,210			
特定財源の名称								
公共施設整備基金繰入金								
【評価・実績】	(実施内容等) 吊物装置修繕工事 刈払機更新	(実施内容等) 電気暖房機改修工事 エアー搬送ファン設置工事	(実施内容等) 印刷機更新 町民センター備品購入 (その1・2)プリンター、テーブル等 町民センター清掃業務委託	(実施内容等) 町民センター長寿命化改修調査委託				
関連事項	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 施設整備 1施設	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 施設整備 1施設	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 施設整備 1施設	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 施設整備 1施設				
第5期計画からの継続	94%	98%	9%	9%	58%		0%	
後期計画への継続	2%	9%	16%	18%	18%		18%	

事業名	町民センター施設整備事業	評価者	菅理 職氏名 評 価 者 作 成 者 職 氏 名	中村 文隆 高橋 秀
事業の目的・内容(Plan・Do)	町民センター	教育振興課長 生涯教育係長		

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	町民センター施設整備
①	指標(指標計算式/附説) 町民センター長寿命化改修調査委託 目標年度 令和3年度 目標値 1施設 実績値 1施設 達成率 100.0 %
②	目標年度 令和3年度 目標値 実績値 達成率

抱える課題やニーズ	町民センターの建物や設備の老朽化が進んでいる
どのような状態になることを目指したのか(意図)	計画的及び適切な整備による、良好な施設環境の維持
その結果、どのような成果を實現したか ※成果＝目的	本町の社会教育活動の拠点となる施設であることから、良好な状態を維持することで、本町の社会教育活動の活性化を図ることができる。
内容(どのような手段で行ったか)	町民センター長寿命化改修調査委託

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/> 全部
必要あり	<input type="checkbox"/> 一部

有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成
有効あり	<input type="checkbox"/> 下回る

効率的	<input type="checkbox"/> 事業抑制
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 人員削減
効率的あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/> その他

公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者が一部に偏る
	<input type="checkbox"/> その他

■その他の特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■事務事業の評価(Check)
(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)
老朽化等による施設備品等を放置することは、利用者の安全確保に問題が生じ、また、施設利用に支障をきたすことから、施設の改修や設備・備品等の更新は必要である。

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか) 設定した目標値の達成状況
施設の設備等の適切な維持管理が図られた。

(3)事務事業の効率性(コストに異なった効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)
指名競争入札により業者選定を実施し、適切なコストで事業を実施することができた。

(4)事務事業の公平性
町民が広く利用する社会教育施設を対象とした事業であることから、公平である。

■総合評価【A～D】	町長評価(三次評価)
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当	
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要	
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要	
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要	

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)
A	

計画どおり施設の改修に向けた調査を実施し、改修の必要箇所を把握できた。

今後の展開方向(Action)
継続/現状維持

施設の改修に向けた調査が完了したことから、今後については、町民のニーズを把握しつつ、社会教育活動の拠点としての役割を担えるよう必要な改修等を実施し、町民の教育環境の改善を図る。

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12020160

政策目標	5 【連携感を高める協働のまち・雄武】～協働によるまちづくりの推進～	
基本施策	22 効果的・効率的な行政経営	
単位施策	3 公共施設の適切な管理	
事業名	体育施設整備事業	
事業期間	平成30年度～令和4年度	
事業主体	雄武町	
事業目標	施設整備	
町民参加	無	
町民協働	無	
会計区分	1 一般会計	
事業優先度	A	
政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
見直し年度	#N/A	
担当課	#N/A	
関係課	#N/A	
ハート/ソフト事業区分	1 ハード事業	
関係例規・法令名	無	
関係個別計画名	無	

【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は記載

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
723 体育施設整備	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	事業内容	事業内容	事業内容	
1 スポーツセンター	パークゴルフ場看板購入 422千円	武道センター照明LED化 1,870千円	風の丘スキー場除雪機更新 820千円	スポーツセンター トランポリン用マット等 800千円	スポーツセンター トランポリン用マット等 800千円	スポーツセンター トランポリン用マット等 800千円	スポーツセンター トランポリン用マット等 800千円	
2 武道センター	スポーツセンター音響機器購入 1,078千円	スポーツセンター フロアカーペット張替 1,200千円						
3 農村広場	スポーツセンター アリーナカーテン交換 1,380千円							
4 パークゴルフ場	ロビー用備品更新 1,900千円							
5 風の丘スキー場								
6 テニスコート								
7 プールームボールコート								
事業費(千円)	21,100	4,790	820	11,800				
国庫支出金	0							
道支出金	0							
地方債	0							
その他	2,000							
一般財源	19,100	4,790	820	2,000				
事業費(千円)	7,208	4,033	591	9,800				
国庫支出金	0							
道支出金	0							
地方債	0							
その他	0							
一般財源	7,208	4,033	591	0				
特定財源の名称								
スポーツ振興(補助金)	(実施内容等) 宮の森・風の丘パークゴルフ場 カッパ・ピン取替え (ハマナスコース) (トドマツコース) (カッコウコース) (風の丘コース) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) パークゴルフ場看板購入 スポーツセンター音響機器購入 スポーツセンター アリーナカーテン交換 スポーツセンター ロビー用備品更新 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 武道センター照明LED化	(実施内容等) 風の丘スキー場除雪機更新	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
【評価・実績】								
第5期計画からの継続	95%	84%	58%	0%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
後期計画への継続	3%	22%	30%	34%	施設整備 1施設	施設整備 1施設	施設整備 1施設	
年度目標値								
年度達成率								
全体達成率								
備考								

事業名	体育施設整備事業	評価者	管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 秀
事業の目的・内容(Plan・Do)	町民 体育施設の建物及び設備の老朽化が進んでいる。 計画的及び適切な整備による、良好な施設環境の維持 本町のスポーツ活動の拠点となる施設を良好な状態に維持することで、本町のスポーツ活動の活性化を図ることができる。 風の丘スキー場除雪機更新	計画者	教育振興課長 生涯教育係長	

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説)	①	社会体育施設整備(2施設)	目標年度 令和3年度 実績年度 令和3年度
	②		目標年度 令和3年度 実績年度 令和3年度
			目標年度 令和3年度 実績年度 令和3年度
			目標年度 令和3年度 実績年度 令和3年度

社会体育施設整備	目標年度 令和3年度 実績年度 令和3年度
社会体育施設整備(2施設)	目標年度 令和3年度 実績年度 令和3年度
	目標年度 令和3年度 実績年度 令和3年度
	目標年度 令和3年度 実績年度 令和3年度

内容(どのような手段で何を行ったか)	風の丘スキー場除雪機購入
--------------------	--------------

■事務事業の評価(Check)
(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部
有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る

指名の設備等の適切な維持管理が図られた。

風の丘スキー場除雪機更新

風の丘スキー場除雪機購入

■総合評価(A~D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		



継続/拡充	スポーツ活動の拠点となる施設を良好な状態に保つことは、スポーツ活動の活性化により、町民の健康寿命の延伸に効果的が期待されることから、施設の設備等のさらなる充実を図ることが必要である。
-------	---

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又はは縮小又は統合又はは内容の見直し-変更
○終了 ○休止 ○廃止

■事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

設定した目標値の達成状況

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る

指名競争入札により業者選定を実施し、適切なコストで事業を実施することができた。

町民が広く利用する社会体育施設を対象とした事業であることから、公平である。

町民が広く利用する社会体育施設を対象とした事業であることから、公平である。

■事務事業の効率性(コストに合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

判断の理由

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業抑制
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減
課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

指名競争入札により業者選定を実施し、適切なコストで事業を実施することができた。

町民が広く利用する社会体育施設を対象とした事業であることから、公平である。

町民が広く利用する社会体育施設を対象とした事業であることから、公平である。

■その他の特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

第6期 雄武町 総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12020170

政策目標 5 【連帯感を高める協働のまち・雄武】～協働によるまちづくりの推進～ 基本施策 22 効果的・効率的な行政運営 3 公共施設の適切な管理	会計区分 1 一般会計 事業優先度 B 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 見直し年度 担当 12 教育委員会教育長興課 #N/A 関係係課 #N/A ハート/ソフト事業区分 2 ソフト事業 #N/A 関係例規・法令名 関係個別計画名	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合はのみ記載
事業名 社会体育施設委託業務事業 事業期間 平成30年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業形態 委託施設 事業目標 4施設 町民参加 無 町民協働 無		

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
各施設の管理業務委託 1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	
事業費(千円) 46,670	7,950	8,880	10,000	9,920	9,920	9,920	9,920	
財源 国庫支出金 0 道支支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 46,670 事業費(千円) 35,953	7,950 7,709	8,880 8,511	10,000 10,246	9,920 9,487	9,920 9,487	9,920 9,487	9,920 9,487	
特定財源の名称 7,709 (実施内容等) 1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート 【評価・実績】	7,709 (実施内容等) 1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	8,511 (実施内容等) 1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	10,246 (実施内容等) 1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	9,487 (実施内容等) 1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	9,487 (実施内容等) 1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	9,487 (実施内容等) 1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	9,487 (実施内容等) 1 風の丘スキー場 2 宮の森・風の丘パークゴルフ場 3 農村広場 4 ブルームボールコート	
※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 4施設の委託業務	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 4施設の委託業務	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 4施設の委託業務	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 4施設の委託業務	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 4施設の委託業務	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 4施設の委託業務	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 4施設の委託業務	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 4施設の委託業務	
第5期計画からの継続 (継続有り) 後期計画への継続 (継続有り)	97% 17%	96% 35%	102% 57%	96% 77%	96% 77%	96% 77%	96% 77%	
年度目標値 年度達成率 全体達成率	97% 17%	96% 35%	102% 57%	96% 77%	96% 77%	96% 77%	96% 77%	
備考								

事業名	社会体育施設委託業務事業	評価者	管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	中村 文隆 高橋 秀
-----	--------------	-----	------------------------	---------------

■ 事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が(対象)	各社会体育施設
抱える課題やニーズ	施設を良好な状態に維持管理し、市民の利用に供する
どのような状態になることを目指したのか(意図)	民間活力の利用による効率的な体育施設の維持管理と、金管企業の柔軟性によりサービスを提供
その結果、どのような成果を實現したか ※成果=目的	維持管理コストを抑制することで、町の財政的負担を軽減するとともに、利用者に対してより良いサービスの提供が図られる。
内容(どのような手段で行ったか)	各社会体育施設の管理委託 風の丘スキー場、宮の森・風の丘パークゴルフ場、農村広場、ブルームコート

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	指標(指標計算式/解説)	目標年度	実績年度	達成率
①	風の丘スキー場 宮の森・風の丘パークゴルフ場 農村広場 ブルームコート	令和3年度	令和3年度	100.0 %
②				

4施設の委託業務	目標年度	実績年度	達成率
	令和3年度	令和3年度	100.0 %

■ 事業の評価 (Check)

(1) 事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	一部	<input type="checkbox"/>

(2) 事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	<input type="checkbox"/>
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	下回る	<input type="checkbox"/>

(3) 事業の効率性 (コストに異なった効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	事業抑制	<input type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

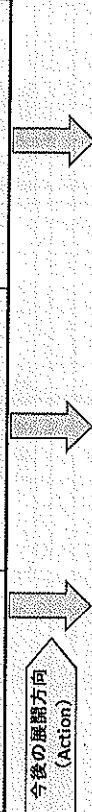
(4) 事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	利益者負担がある	<input type="checkbox"/>
公平/概ね公平/不公平でない	<input type="checkbox"/>	利益者負担がない	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

■ その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価 (A~D)
 A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		



継続/現状維持	施設の維持管理は今後も必要であることから、継続していく必要がある。
---------	-----------------------------------

※ 展開方向の区分
 ○ 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

No. 12030010

【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画項目を有する場合はのみに記載	
政策目標	3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～
基本施策	12 生涯学習・生涯スポーツの推進
重点施策	3 図書サービスの充実
事業名	読書促進事業
事業期間	平成30年度～令和4年度
事業主体	雄武町
事業目標	町民1人あたり貸出冊数
町民参画	町民1人あたり貸出冊数10冊
町民協働	有 読み聞かせ等におけるボランティアの活用

計画内容	会計区分			
	1 一般会計	A		
事業優先度				
政策事務分類	3 単独自治事務(その他)			
見直し年度				
担当課	12 教育委員会教育振興課			
関係保	5 保健福祉課			
ハート/アト 事業区分	8 保育所			
関係例規・法令名	無			
関係個別計画名	有 第9次社会教育中期計画、第3次子どもの読書活動推進計画			

計画内容	令和元年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	事業内容				事業内容				事業内容				事業内容			
● 図書サービスの充実 ・図書購入 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・講演会、映画上映会等の各種イベント	・図書購入 2,500冊 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・新図書館オープンに向けた プレイイベント(絵本作家による ワークショップ、大人又は親子 を対象とした朗読会、愛称募 集事業)				・図書購入 3,500冊 ・視聴覚資料購入 200点 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・新図書館オープン記念事業 (講演会、ワークショップ等) ・映画上映会、工作会等の各種 イベント				・図書購入 3,500冊 ・視聴覚資料購入 50点 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・講演会、映画上映会、工作会 等の各種イベント				・図書購入 3,500冊 ・視聴覚資料購入 50点 ・ブックスタート ・配本、移動図書館 ・講演会、映画上映会、工作会 等の各種イベント ・図書館まつり			
事業費(千円)	37,199				4,380				10,372				7,300			
財源内訳	0				0				0				0			
国庫支出金	0				0				0				0			
道支支出金	0				0				0				0			
地方債	0				0				0				0			
その他	0				0				0				0			
一般財源	37,199				4,380				10,372				7,300			
事業費(千円)	29,071				4,280				10,192				7,196			
財源内訳	0				0				0				0			
国庫支出金	0				0				0				0			
道支支出金	0				0				0				0			
地方債	0				0				0				0			
その他	0				0				0				0			
一般財源	29,071				4,280				10,192				7,196			
特定財源の名称																
ふるさと応援基金																
いきいきふるさと推進事業助成金																
【評価・実績】	図書・絵本購入(4,371冊) ブックスタート5回実施、29人に配付 配本～雄武小 年間2,800冊 配本～豊丘小 年間1,500冊 移動図書館145人利用、483冊貸出 プレイイベント(おはなしの会)の実施 ※事務事業評価結果				図書・絵本購入(3,189冊) ブックスタート3回実施、30人に配付 配本～雄武小 年間2,520冊 配本～豊丘小 年間1,350冊 移動図書館171人利用、387冊貸出 映画上映会、工作会の実施 ※事務事業評価結果				図書・絵本購入(3,432冊) ブックスタート4回実施、31人に配付 配本～雄武小 年間2,820冊 配本～豊丘小 年間1,500冊 配本～雄武中 年間240冊 映画上映会、工作会の実施 ※事務事業評価結果				図書・絵本購入(3,432冊) ブックスタート4回実施、31人に配付 配本～雄武小 年間2,820冊 配本～豊丘小 年間1,500冊 配本～雄武中 年間240冊 映画上映会、工作会の実施 ※事務事業評価結果			
年度目標値	98%				98%				101%				102%			
年度達成率	12%				39%				59%				78%			
全体達成率	98%				98%				101%				102%			
備考	町民1人あたり貸出冊数10冊				町民1人あたり貸出冊数10冊				町民1人あたり貸出冊数10冊				町民1人あたり貸出冊数10冊			
継続(有り)	B-継続/拡充				A-継続/拡充				A-継続/拡充				A-継続/拡充			

事業名	読書促進事業	評価者	管理職 藤氏名 評価者 作成者 藤氏名	中村 文隆 櫻井 輝久
-----	--------	-----	------------------------	----------------

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

利用者が(町民)	資料の計画的な収集、企画展示、ワークショップ等の開催などにより、町民の読書活動を促進しているもの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり貸出冊数については、目標値を達成できず、来館者数も伸び悩んでいる。
抱える課題やニーズ	利用者のニーズに応じた資料の収集・提供及び、読書活動に関連する各種展示及びイベント等による読書の促進。
どのような状態になることを目指したのか(意図)	町民の幅広いニーズに対応した資料の提供による読書活動の促進により、町民の生活向上及び地域の活性化を図る。
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果二目的	① 図書購入(絵本含む) 図書購入冊数~3,432冊(目標値対比68冊の減、前年度対比243冊の増)
内容(どのような手段で何を 行ったか)	② 年間貸出 年間貸出冊数~33,170冊(前年度対比4,260冊の増)、年間貸出人数~5,513人(前年度対比316人の増)
	③ 移動図書館・配本・ブックスタート・工作会等各種事業 ブックスタート~4回実施し、31人に配布。 配本~雄武小学校、豊丘小学校、雄武中学校を対象に計4,560冊を配本。 移動図書館~沢木小学校、共栄小学校を対象に期間を延長し実施。工作会~4回実施、各種展示会~32回実施

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)

指標(指標計算式/解説)

①	図書購入冊数	目標年度 目標値 3,500冊	実績年度 実績値 3,432冊	達成率 98.1%
②	1人当たり貸出冊数	目標年度 目標値 10,000冊	実績年度 実績値 7,910冊	達成率 79.1%

図書購入冊数3,500冊、町民1人当たり貸出冊数10冊

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や直撞しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

地域の情報利点として位置付けられる図書館において、蔵書を充実し図書館利用を促進することは、町民の生涯学習の推進のため必要であり、ひいてはまちづくりを担う人材の育成につながる、地域の活性化に寄与するものである。

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る

1人あたり貸出冊数は新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標達成に至っていないが、前年度と比較し達成度が7.2%増となっていることから、町民ニーズに応じ適切に読書活動を推進できていると考える。

(3)事務事業の効率性(コストに合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

図書購入に係る経費は、図書館に対する町民ニーズに合わせた必要コストであり、図書購入の際には町民ニーズを踏まえた選書や購入冊数等の精査を行っており、効率的に執行している。

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

図書館は町民の誰もが利用できる空間であるとともに、町民のニーズに応じた図書の整備を図っていることから、公平性は保たれている。

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等

B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等

C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等

D:事業効果が表れていない。事業の統合、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	A	評価会議評価(二次評価)		町長評価(三次評価)	
新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を考慮し規模を縮小したが、最大限事業を実施し、計画内に資料を購入することができた。					



継続/拡充	資料の計画的な購入と整理、企画展示の充実等を引き続き行うことに加え、新たに図書館まつりを開催し読書活動の促進を図る。 また、学校図書室に司書を派遣し、児童・生徒に対する読書環境の整備を行う。
-------	--

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

事業名	学校給食子育て支援事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	西万 苗
		評価者 職氏名	教育振興課長
		評価者 職氏名	学校給食係

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町内小中学校に通い、かつ町内に住所を有する児童・生徒の保護者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	助成対象世帯(保護者)数
抱える課題やニーズ	少子化対策及び子育て支援については、児童福祉・医療の分野において各種施策が実施されているが、学校教育の分野においてもさらなる施策の充実が求められている。	指標(指標計算式/解説)	目標年度 目標値 176人 実績値 176人
どのような状態になることを目指したのか(意図)	学校給食費保護者負担金について町が助成を行うことにより、子育てに係る保護者の負担を軽減し、安心して子育てできる環境づくりに寄与する。	助成対象世帯(保護者)数	達成度 100.0%
その結果、どのような成果を実現したいか	他の支援制度と併せて本事業を実施することにより、保護者のより一層の負担軽減が図られ、安心して子育てできる環境が創出されること、出生増等による少子化対策も図られる。	児童生徒数	目標年度 目標値 276人 実績値 262人
※成果＝目的			達成度 94.9%
内容(どのような手段で何をを行ったか)	保護者に対する学校給食費負担の軽減 保護者が納入すべき学校給食費負担金の全額を助成した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や肩代りによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	<input type="checkbox"/>
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	<input type="checkbox"/>
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	<input type="checkbox"/>

総合計画の基本的な実施方針において子育て支援の充実が掲げられていることから、町の方針に合致する事業である。

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	助成対象となる全ての保護者に助成を行い、事業目標を達成した。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率的・効果性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	学校給食費保護者負担金に対する定額の補助であることから、過度なコストは生じていない。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

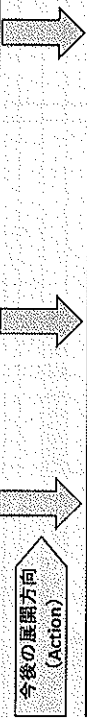
公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	助成対象は町内児童生徒の保護者に限定されるが、人口減少・少子化対策はまちの将来に関わる重要な施策であることから、公平と判断した。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益者が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模・内容、実施主体等の見直しが必要等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	A	評価会議評価(二次評価)		町長評価(三次評価)	
助成対象となる全ての保護者に助成することで、保護者の学校給食費の負担軽減を図るとともに、安心して子育てできる環境づくりに寄与した。					



※展開方向の区分
○継続/現状維持又は補充又は縮小又は統合又は内容はの見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12040020

政策目標 3 【達成感から学ぶ教育のまち・雄武】～教育・文化の振興と拠点づくり～ 基本施策 11 学校教育の充実 単位施策 2 小中学校の教育環境の充実	会計区分 1 一般会計 事業優先度 B 政策事務分類 3 単独自治事務(その他) 負担し年度 課 担当 12 教育委員会教育振興課 関係 係 #N/A ハト/ソト事業区分 2 ソト事業 関係例規・法令名 有 学校給食法 関係種別計画名 無	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は記載
事業名 学校給食調理業務委託事業 事業期間 平成30年度～令和4年度 事業主体 雄武町 事業指標 安心・安全な学校給食の提供体制維持 事業目標 正規調理員数 町民参加 無 町長協働 無		

計画内容	令和元年度 事業内容		令和2年度 事業内容		令和3年度 事業内容		令和4年度 事業内容	
	事業費(千円)	実績	事業費(千円)	実績	事業費(千円)	実績	事業費(千円)	実績
安心・安全な学校給食の供給体制の維持を図るため、調理業務の委託を行う。 【評価・実績】	事業費(千円)	85,036	15,775	15,920	19,000	18,711		
	財源内訳	0						
	国庫支出金	0						
	地方債	0						
その他	0							
事業費(千円)	85,036		15,775	15,920	19,000	18,711		
特定財源	66,034		15,774	15,919	18,711	0		
国庫支出金	0							
地方債	0							
その他	0							
一総財源	66,034		15,774	15,919	18,711	0		
特定財源の名称	(実施内容等)		(実施内容等)		(実施内容等)		(実施内容等)	
第5期計画からの継続 (経費有り) 後期計画への継続 (継続有り)	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 正規調理員 5人、事故発生 0件 100% 18%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 正規調理員 5人、事故発生 0件 100% 37%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 正規調理員 5人、事故発生 0件 100% 56%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 正規調理員 5人、事故発生 0件 98% 78%	※事務事業評価結果 正規調理員 5人、事故発生 0件 0% 78%			

事業名	学校給食調理業務委託事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
		評価者 作成者 職氏名	西万 茜
		教育振興課長	
		学校給食係	

事業の目的・内容 (Plan・Do)	町内小中学校に在籍する児童生徒及び教職員等	学校給食衛生管理基準に基づく安全・安心な学校給食の提供
誰、何が(対象)	町内小中学校に在籍する児童生徒及び教職員等	学校給食衛生管理基準に基づく安全・安心な学校給食の提供
抱える課題やニーズ	正規調理員の恒久的な確保と、学校給食衛生管理基準に基づく安全・安心な学校給食の提供	学校給食衛生管理基準に基づく安全・安心な学校給食の提供
どのような状態になることを目指したのか(意図)	熟練した正規調理員が恒久的に確保され、衛生管理や調理作業の効率化等において専門的なノウハウが活かされた学校給食の提供体制の確立。	学校給食衛生管理基準に基づく安全・安心な学校給食の提供
その結果、どのような成果を表現したいか ※成果＝目的	学校給食衛生管理基準の遵守による安全・安心な学校給食の提供を実現することにより給食の質の向上を図り、食育を推進することで、児童・生徒等の心身の健全な発達に寄与する。	学校給食衛生管理基準に基づく安全・安心な学校給食の提供
内容(どのような手段で何をを行ったか)	調理業務の民間委託	学校給食衛生管理基準に基づく安全・安心な学校給食の提供

望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	指標(指標計算式/解説)	目標年度	実績年度	目標値	実績値
①	正規調理員の数	令和3年度	令和3年度	5人	5人
②	事故発生件数	令和3年度	令和3年度	100.0%	0件
					100.0%

町外調理事業者との委託契約(長期継続契約)により、調理業務を遂行した。

■ 事業の評価 (Check)
 (1) 事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして受当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や原直しによる対応可能性)
 必要 義務的なもの 全部 一部

(2) 事業の有効性(期待する効果が得られたか)
 有効 設定した目標値の達成状況 達成 ほぼ達成 下回る

(3) 事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)
 判断の理由
 事業費抑制 人員削減 時間短縮・作業軽減 その他

(4) 事業の公平性
 判断の理由
 受益者負担がある 受益者負担がない 受益が一部に偏る その他

必要/概ね必要/課題あり	必要 <input type="checkbox"/> 概ね必要 <input type="checkbox"/> 課題あり <input type="checkbox"/>
有効/概ね有効/課題あり	有効 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効 <input type="checkbox"/> 課題あり <input type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的/課題あり	効率的 <input type="checkbox"/> 概ね効率的 <input type="checkbox"/> 課題あり <input type="checkbox"/>
公平/概ね公平/公平でない	公平 <input type="checkbox"/> 概ね公平 <input type="checkbox"/> 公平でない <input checked="" type="checkbox"/>

■ 総合評価【A~D】
 A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業領域、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		

調理業務の民間委託により、衛生管理や調理作業の効率性が向上し、適正なコストで安全・安心な学校給食を提供する体制が構築された。

今後の展開方向 (Action)

継続/現状維持

安定的かつ適正なコストによる給食の提供体制を維持するため、引き続き調理業務を民間委託する必要がある。

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は補充又は補充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

事業名	学校給食食育推進事業	評価者 管理職 職氏名	中村 文隆
誰	町内小中学校に在籍する児童生徒	評価者 作成者 職氏名	四方 直
何(対象)	学校給食食育推進事業	教育振興課長	学校給食係

事業の目的・内容(Plan・Do)	町内小中学校に在籍する児童生徒	地場産食材活用数	目標年度	実績年度	目標値	実績値	偏差	偏差率
抱える課題やニーズ	学校給食法及び学習指導要領により、食育の一環として学校給食における地場産食材の活用が求められている。	①	令和3年度	令和3年度	4種類	4種類	0	0%
どのような状態になることを目指したのか(意図)	学校給食に地場産食材を活用することにより、新鮮かつ安全・安心な給食を提供することにも、食材を身近に感じることや自然の恩恵、生産者に対して感謝の気持ちを醸成することにより、食育の推進を図る。	②	令和4年度	令和4年度	6種類	6種類	0	0%
その結果、どのような成果を 実現したのか ※成果=目的	地域の特性を生かした食育を推進することにより、地域の食文化への理解が進み、児童生徒の地域に対する関心や愛着が醸成される。							150.0 %
内容(どのような手段で何を 行ったか)	町費による地場産食材の活用							

■ 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や重複による対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費削減	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■ その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価【A~D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		

新鮮な地場産食材を給食に活用することにより、「食」が地元産業を理解する体験学習につながった。また、給食から生産者などへの感謝の気持ちや醸成する機会となったことから、食育の推進が図られた。

今後の展開方向(Action)

継続/現状維持

無償提供される食材に加え、引続き町費による地場産食材の購入を行い、給食を通じて食育の推進を図る。また、地域経済の活性化に寄与するため、地場産食材の購入を継続して行う。

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し、変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

第6期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調査

様式1

No. 12040050

政策目標	3 (達成感から学ぶ教育のまち・雄武) ~教育・文化の振興と拠点づくり~	会計区分	1 一般会計
基本施策	11 学校教育の充実	事業優先度	B
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)
事業名	学校給食センター設備等更新事業	見直し年度	
事業期間	平成30年度~令和3年度	担当	12 教育委員会教育振興課
事業主体	雄武町	関係	#N/A
事業目標	各種設備・備品の整備	関係	#N/A
事業目標	各種設備・備品の整備	パート/ノ外 事業区分	1 ハード事業
町民参加	無	関係例規・法令名	無
町民協働	無	関係個別計画名	無

【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合は下記表

計画内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	事業内容	数量	事業内容	数量	事業内容	数量	事業内容	数量
学校給食センターの設備・備品のうち、老朽化したものについて適宜更新を行う。	・米飯用食缶更新 13個	13	・ガス警報機更新 4台 ・温食用食缶更新 11個 ・移動台更新 2台 ・小皿更新 400枚 ・栄養教諭用パソコン 1台	16 20 2	・食器更新(角仕切皿) 500個 ・食器更新(うどん丼) 500個	500 500	・食器更新(深皿) 500個 ・移動台 1台 ・食器箱(中学校用) 7個 ・洗濯機 2台	500 7 2
事業費(千円)	5,432	539	1,200	1,220	1,122	1,351		
財源	国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0							
事業費(千円)	5,432	539	1,200	1,220	1,122	1,351		
財源	国庫支出金 0 道支出金 0 地方債 0 その他 0							
特定財源の名称	4,070	498	1,106	1,360	1,106	0		
(実施内容等)	食器用食缶更新 16個 トレー用かご更新 20個 保温庫更新 (豊丘小・共栄小) 2台		ガス警報機更新 4台 温食用食缶更新 11個 移動台更新 2台 小皿更新 400枚 栄養教諭用パソコン 1台 中学校用食缶等 7個 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ガス警報機更新 4台 温食用食缶更新 11個 移動台更新 2台 小皿更新 400枚 栄養教諭用パソコン 1台 中学校用食缶等 7個 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 食器更新(角仕切皿) 500個 食器更新(うどん丼) 500個	(実施内容等) 食器更新(角仕切皿) 500個 食器更新(うどん丼) 500個	(実施内容等) 食器更新(深皿) 500個 移動台 1台 食器箱(中学校用) 7個 洗濯機 2台	
【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 米飯用食缶 13個	92%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 食缶、小皿、保温庫一式	111%	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 食器更新一式	99%	※事務事業評価結果 設備及び備品更新一式	0%
年度目標値	92%	92%	92%	111%	99%	99%	0%	
年度達成率	9%	30%	30%	55%	75%	75%	75%	
全体達成率								
備考								

事業名	学校給食センター整備等更新事業	評価者 管理課 藤田名	中村 文隆
		評価者 作成者 藤田名	西方 苗
		教育振興課長	
		学校給食係	

様式1
令和3年度実施
令和4年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)		学校給食センター職員及び調理員	更新した設備等の数量
誰、何が(対象)			
抱える課題やニーズ	現在の学校給食センターは平成28年度完成の施設であることから、設備の老朽化は生じていないが、食缶等の備品は長らく更新していないため老朽化が進んでいる。		目標年度 令和3年度 2種類
どのような状態になることを目指したのか(意図)	備品の更新によって、学校給食に用いる備品の衛生改善を図る。		目標年度 令和3年度 2種類
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果＝目的	衛生環境の改善により、安全・安心な学校給食の提供体制を充実させる。		達成度 100.0 %
内容(どのような手段で何を行ったか)	備品の更新 老朽化していた食器(角仕切皿、うどん丼)を更新した。		目標年度 令和3年度 2種類
			目標年度 令和3年度 2種類

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や重複しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
必要あり	<input type="checkbox"/>	一部

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)	
有効	<input checked="" type="checkbox"/>
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>
有効あり	<input type="checkbox"/>

(3) 事務事業の効率的・公平性(コストに合わせた効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)	
効率的	<input checked="" type="checkbox"/>
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>
効率的あり	<input type="checkbox"/>

(4) 事務事業の公平性	
公平	<input checked="" type="checkbox"/>
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>
公平でない	<input type="checkbox"/>

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等

B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	町長評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		

予算内で計画どおり備品の更新が完了し、学校給食に用いる備品の衛生改善が図られた。

今後の展開方向 (Action)

継続/現状維持

次年度以降も老朽化している備品の更新を計画的に推し進めていく。

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止



令和4年度
雄武町教育委員会の活動状況に関する
点検・評価報告書

令和5年3月

雄武町教育委員会